

表 I - 0 症例一覽

症例番号	名前	性別	年齢	学歴	職種	負因	診断名	主症状	初診時状態像	転帰	業務上外の判断推測
1	K.O.	男性	34歳	大卒	技術職	なし	F43.1 外傷後ストレス障害(交通事故)	過覚醒・不安・思考制止	不安・抑うつ状態	悪化	業務外
2	A.T.	男性	42歳	大卒	研究職	なし	F32.1 中等症うつ病エピソード	睡眠障害・自律神経症状・思考障害	抑うつ状態	軽快	業務上
3	S.F.	女性	30歳	大卒	研究職	なし	F32.1 中等症うつ病エピソード	食思不振・睡眠障害・微小妄想	抑うつ状態	軽快	業務上
4	A.K.	男性	50歳	大卒	事務職	なし	F32.1 中等症うつ病エピソード	睡眠障害・自律神経症状・思考障害	抑うつ状態	軽快	業務上
5	H.M.	男性	38歳	院卒	研究職	なし	F32.0 軽症うつ病エピソード	抑うつ気分・睡眠障害	抑うつ状態	軽快	業務外
6	H.I.	男性	29歳	院卒	研究職	なし	F32.0 軽症うつ病エピソード	抑うつ気分・睡眠障害	抑うつ状態	軽快	業務上
7	K.T.	男性	27歳	大卒	事務職	なし	F32.0 軽症うつ病エピソード	抑うつ気分・睡眠障害	抑うつ状態	軽快	業務外
8	M.S.	男性	33歳	高卒	事務職	なし	F41.0 パニック障害	パニック発作・予期不安	不安・混乱状態	軽快	業務外
9	S.K.	男性	40歳	大卒	技術職	なし	F32.2 精神病症状をともなわない重症うつ病エピソード	睡眠障害・自律神経症状・思考障害・希死念慮	抑うつ状態	軽快	業務上
10	M.S.	男性	26歳	大卒	事務職	なし	F50.0 神経性無食欲症	拒食・体重減少・活動性上昇	身体衰弱状態	軽快	業務外
11	Y.I.	男性	29歳	大卒	研究職	なし	F32.0 軽症うつ病エピソード	抑うつ気分・睡眠障害	抑うつ状態	軽快	業務上
12	Y.S.	男性	43歳	大卒	事務職	なし	F32.2 精神病症状をともなわない重症うつ病エピソード F1x.4 せん妄をともなう離脱状態	食思不振・睡眠障害・希死念慮・せん妄	抑うつ状態	軽快	業務上
13	H.H.	男性	21歳	高卒	事務職	なし	F32.0 軽症うつ病エピソード	抑うつ気分・睡眠障害	抑うつ状態	軽快	業務外
14	T.O.	男性	33歳	院卒	研究職	なし	F32.1 中等症うつ病エピソード	睡眠障害・自律神経症状・思考障害	抑うつ状態	軽快	業務上
15	T.M.	男性	34歳	院卒	研究職	なし	F22.0 妄想性障害	被害妄想	幻覚妄想状態	軽快	業務外
16	K.K.	女性	32歳	大卒	技術職	なし	F32.0 軽症うつ病エピソード	抑うつ気分・睡眠障害	抑うつ状態	軽快	業務上
17	T.I.	男性	35歳	院卒	研究職	あり	F20.0 妄想型分裂病	被害妄想・思考障害	幻覚妄想状態	退職	業務外
18	Y.N.	男性	52歳	院卒	研究職	なし	F20.0 妄想型分裂病	被害妄想・思考障害	幻覚妄想状態	不変	業務外
19	S.T.	女性	35歳	大卒	事務職	なし	F43.22 混合性不安抑うつ反応	睡眠障害・自律神経症状・希死念慮・思考障害	抑うつ状態	不変	業務上
20	K.H.	男性	35歳	大卒	研究職	あり	F20.1 破瓜型分裂病	被害関係念慮・思考障害・意欲低下	幻覚妄想状態	不変	業務外
21	M.H.	男性	28歳	高卒	事務職	なし	F60.6 不安性(回避性)人格障害	無断欠勤	不安状態・ひきこもり	不変	業務外
22	H.K.	男性	39歳	高卒	事務職	なし	F20.1 破瓜型分裂病	幻聴・被害妄想	幻覚妄想状態	不変	業務外
23	M.U.	男性	29歳	大卒	事務職	なし	F45.2 身体表現性障害	歌拗な頭痛と腹痛の訴え	心気状態	不変	業務上
24	S.A.	男性	50歳	大卒	事務職	なし	F20.1 破瓜型分裂病	無為・感情鈍麻・意欲低下	欠陥状態	退職	業務上
25	A.Y.	男性	35歳	大卒	技術職	なし	F41.0 パニック障害	パニック発作・予期不安	不安・混乱状態	不変	業務外
25	C.S.	女性	26歳	短卒	事務職	なし	F32.0 軽症うつ病エピソード	抑うつ気分・睡眠障害	抑うつ状態	不変	業務上
27	T.K.	男性	33歳	高卒	事務職	なし	F43.2 交通事故後遷延する頭痛、適応障害	頭痛・職場復帰出来ず	抑うつ状態	不変	業務外
28	N.K.	男性	34歳	高卒	事務職	なし	F45.0 身体表現性障害	頭痛と微熱	身体化状態	不変	業務外
29	T.I.	男性	30歳	高卒	事務職	なし	F20.0 妄想型分裂病	被害妄想	幻覚妄想状態	軽快	業務上
30	H.H.	男性	39歳	院卒	技術職	なし	F32.1 中等症うつ病エピソード	睡眠障害・自律神経症状・思考障害	抑うつ状態	不変	業務上
31	M.F.	男性	29歳	大卒	研究職	なし	F23.3 妄想を主とする他の急性精神病性障害	幻聴・被害関係念慮	幻覚妄想状態	軽快	業務上

表 I 予備調査1 集計結果

表 I-1 茨城県下の一般事業所における属性について 事業所数(%)

項目	全体	一般事業所		
	788	49名	50-199名	200名以上
		87 (11.0)	492 (62.4)	209 (26.5)
業種				
1 製造業	410 (52.0)	38 (43.7)	261 (53.0)	111 (53.1)
2 建設業	19 (2.4)	4 (4.6)	13 (2.6)	2 (1.0)
3 運輸・交通	57 (7.2)	8 (9.2)	38 (7.7)	11 (5.3)
4 卸・小売業	38 (4.8)	3 (3.4)	22 (4.5)	13 (6.2)
5 金融・広告	12 (1.5)	0 (0.0)	3 (0.6)	9 (4.3)
6 教育・研究・サービス	63 (8.0)	9 (10.3)	32 (6.5)	22 (10.5)
7 その他	180 (22.8)	22 (25.3)	120 (24.4)	38 (18.2)
8 無回答	9 (1.2)	3 (3.4)	3 (0.6)	3 (1.4)

表 I-2 筑波研究機関における属性について 機関数(%)

項目	全体	筑波研究機関		
	58	49名	50-199名	200名以上
		19 (32.8)	19 (32.8)	20 (34.5)
業種				
1 製造業	5 (8.6)	2 (10.5)	2 (10.5)	1 (5.0)
2 建設業	4 (6.9)	1 (5.3)	3 (15.8)	0 (0.0)
3 運輸・交通	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
4 卸・小売業	1 (1.7)	1 (5.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
5 金融・広告	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
6 教育・研究・サービス	37 (63.8)	6 (31.6)	13 (68.4)	18 (90.0)
7 その他	10 (17.2)	8 (42.1)	1 (5.3)	1 (5.0)
8 無回答	1 (1.7)	1 (5.3)	0 (0.0)	0 (0.0)

従業員数	茨城県下の機関別規模			機関数もしくは事業所数(%)	
	筑波研究機関	一般事業所		茨城県全事業所*	
49名以下	19 (32.8)	87 (11.0)		133143 (97.4)	
50-199名	19 (32.8)	492 (62.4)		2990 (2.2)	
200名以上	20 (34.5)	209 (26.5)		505 (0.4)	
全体	58 (100.0)	788 (100.0)		136638 (100.0)	

\*平成8年 事業所・企業統計調査報告より

表 I-4 メンタルヘルスケアにおける現状についての比較

項目		機関数もしくは事業所数(%)			
		筑波研究機関 n=58		茨城県下一般事業所 n=788	
これまでに労働者の精神的な問題で お困りになったことはありますか。	1 はい	36	(62.1)	296	(37.6)
	2 いいえ	22	(37.9)	489	(62.1)
	3 無回答	0	(0.0)	3	(0.4)
(一番上の質問に「はい」と答えた方) どのような精神的問題が多いですか。 (複数回答)	1 統合失調症	9	(13.8)	53	(9.7)
	2 うつ病	21	(32.3)	179	(32.9)
	3 神経症	13	(20.0)	84	(15.4)
	4 アルコール問題	4	(6.2)	41	(7.5)
	5 出社拒否	3	(4.6)	61	(11.2)
	6 対人関係の問題	14	(21.5)	107	(19.7)
	7 その他	1	(1.5)	19	(3.5)
現在、精神的な問題を抱えている労働者はいますか。	1 はい	28	(48.3)	172	(21.8)
	2 いいえ	29	(50.0)	606	(76.9)
	3 無回答	1	(1.7)	10	(1.3)

表 I-5 メンタルヘルスケアにおける現在の対応についての比較

項目		機関数もしくは事業所数(%)			
		筑波研究機関 n=58		茨城県下一般事業所 n=788	
紹介する時の経路 (最も多い職種)	1 産業医	15	(25.9)	208	(26.4)
	2 保健婦	2	(3.4)	29	(3.7)
	3 人事・労務担当者	17	(29.3)	188	(23.9)
	4 知人を介して	7	(12.1)	45	(5.7)
	5 その他	5	(8.6)	104	(13.2)
	6 無回答	12	(20.7)	214	(27.2)
紹介する時の経路 (次に多い職種)	1 産業医	11	(19.0)	119	(15.1)
	2 保健婦	4	(6.9)	51	(6.5)
	3 人事・労務担当者	10	(17.2)	142	(18.0)
	4 知人を介して	6	(10.3)	58	(7.4)
	5 その他	9	(15.5)	116	(14.7)
	6 無回答	18	(31.0)	302	(38.3)
紹介する時の同意について	1 本人の同意を必ずとる	30	(51.7)	399	(50.6)
	2 本人の同意が無くても家族の同意が有れば紹介	8	(13.8)	125	(15.9)
	3 同意の有無にかかわらず紹介	1	(1.7)	18	(2.3)
	4 無回答	18	(31.0)	246	(31.3)

表 I - 6 メンタルヘルスケアにおける職場復帰についての比較

機関数もしくは事業所数 (%)

項目		筑波研究機関		茨城県下一般事業所	
		n=58		n=788	
職場復帰にあたり事業所側の 労働者本人に対する担当者	1 産業医	1	(1.7)	31	(3.9)
	2 保健婦	1	(1.7)	6	(0.8)
	3 人事・労務担当者	24	(41.4)	370	(47.0)
	4 直接の上司	15	(25.9)	152	(19.3)
	5 その他	0	(0.0)	19	(2.4)
	6 無回答	17	(29.3)	210	(26.7)
職場復帰にあたり最終判断の権限・責任の所在	1 産業医	4	(6.9)	92	(11.7)
	2 事業所の長	36	(62.1)	421	(53.4)
	3 復職判定委員などの内部組織	3	(5.2)	38	(4.8)
	4 その他	2	(3.4)	60	(7.6)
	5 無回答	13	(22.4)	177	(22.5)
復職に対する明確な基準の有無	1 ある	12	(20.7)	79	(10.0)
	2 ない	40	(69.0)	581	(73.8)
	3 無回答	6	(10.3)	127	(16.1)
精神疾患患者に対する理解や協力の有無	1 たいへんある	12	(20.7)	71	(9.0)
	2 まあまあある	28	(48.3)	373	(47.3)
	3 あまりない	9	(15.5)	120	(15.2)
	4 きわめてない	0	(0.0)	14	(1.8)
	5 無回答	9	(15.5)	210	(26.7)
復職のための診断書の扱いについて	1 本人又は家族に直接診断書をもらうように言う	23	(39.7)	348	(44.2)
	2 産業医から主治医に連絡を取る	8	(13.8)	62	(7.9)
	3 保健婦から主治医に連絡を取る	0	(0.0)	12	(1.5)
	4 人事・労務担当者から主治医に連絡を取る	15	(25.9)	144	(18.3)
	5 その他	1	(1.7)	13	(1.6)
	6 無回答	11	(18.9)	209	(26.6)

表 I-7 メンタルヘルスケアにおける産業医との連携についての比較

項目		機関数もしくは事業所数(%)			
		筑波研究機関 n=58		茨城県下一般事業所 n=788	
産業医の治療と職場復帰に対する関与について	1 外部の専門医に「お任せ」である	18	(31.0)	251	(31.9)
	2 治療については任せるが、 最終判断に積極的に関与する	11	(19.0)	94	(11.9)
	3 治療については任せるが、 職場復帰には事業所内の調整を行い、 最終判断に積極的に関与する	13	(22.4)	160	(20.3)
	4 無回答	16	(27.6)	283	(36.0)
産業医としての精神科専門医について	1 できれば常勤で確保したい	7	(12.1)	37	(4.7)
	2 できれば嘱託で確保したい	10	(17.2)	37	(4.7)
	3 紹介先として確保したい	19	(32.8)	254	(32.2)
	4 一般産業医の判断に一任	8	(13.8)	237	(30.1)
	5 無回答	14	(24.1)	223	(28.3)

表 I-8 メンタルヘルスケアにおける外部機関との連携についてについての比較 機関数もしくは事業所数(%)

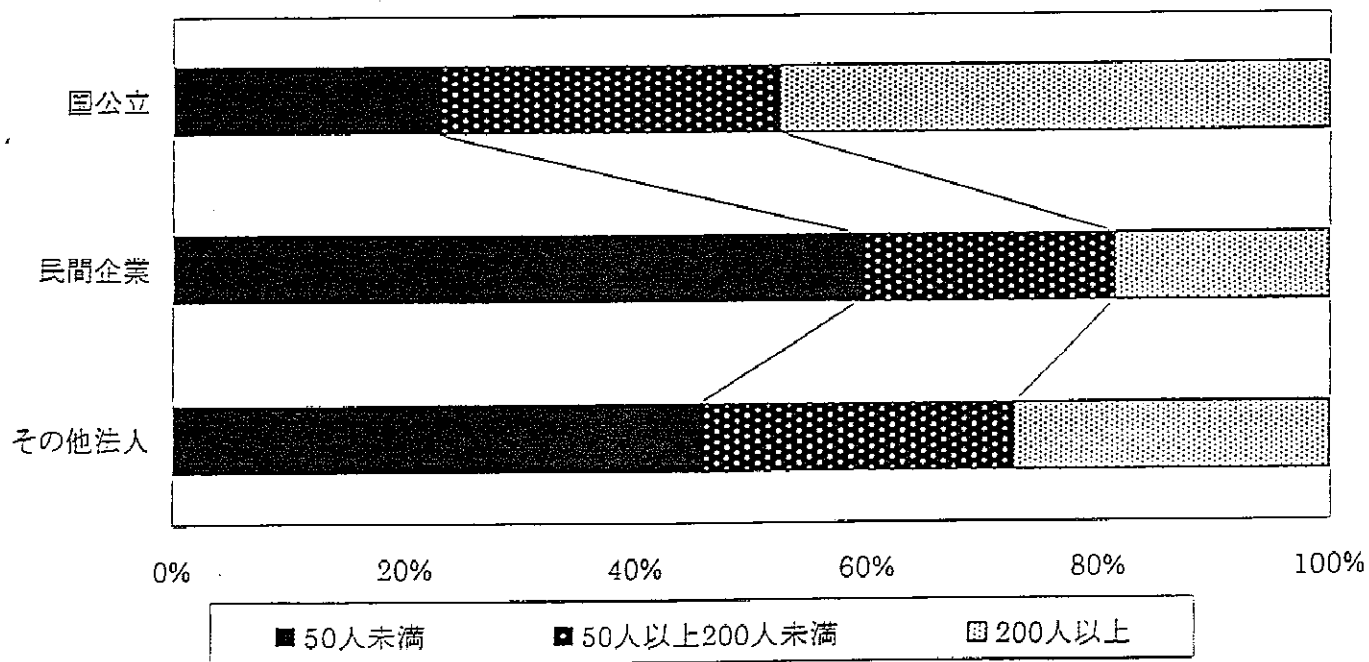
項目	気液研究機関		茨城県下一般事業所	
	n=58		n=788	
産業医と精神科専門機関の連携について	1 たいへんよい	6 (10.3)	51 (6.5)	
	2 まあまあよい	16 (27.6)	144 (18.3)	
	3 あまりよくない	4 (6.9)	60 (7.6)	
	4 ほとんどない	17 (29.3)	266 (33.8)	
	5 無回答	15 (25.9)	267 (33.9)	
精神科専門機関と事業所の連携について	1 たいへんよい	7 (12.1)	46 (5.8)	
	2 まあまあよい	13 (22.4)	113 (14.3)	
	3 あまりよくない	4 (6.9)	75 (9.5)	
	4 ほとんどない	21 (36.2)	321 (40.7)	
	5 無回答	13 (22.4)	233 (29.5)	
事業所と産業医の連携について	1 たいへんよい	13 (22.4)	146 (18.5)	
	2 まあまあよい	19 (32.8)	251 (31.9)	
	3 あまりよくない	3 (5.2)	60 (7.6)	
	4 ほとんどない	10 (17.2)	104 (13.2)	
	5 無回答	13 (22.4)	227 (28.8)	



表Ⅱ、図A 予備調査2 集計結果

表Ⅱ-1 研究機関の属性 (機関数・カッコ内は%)

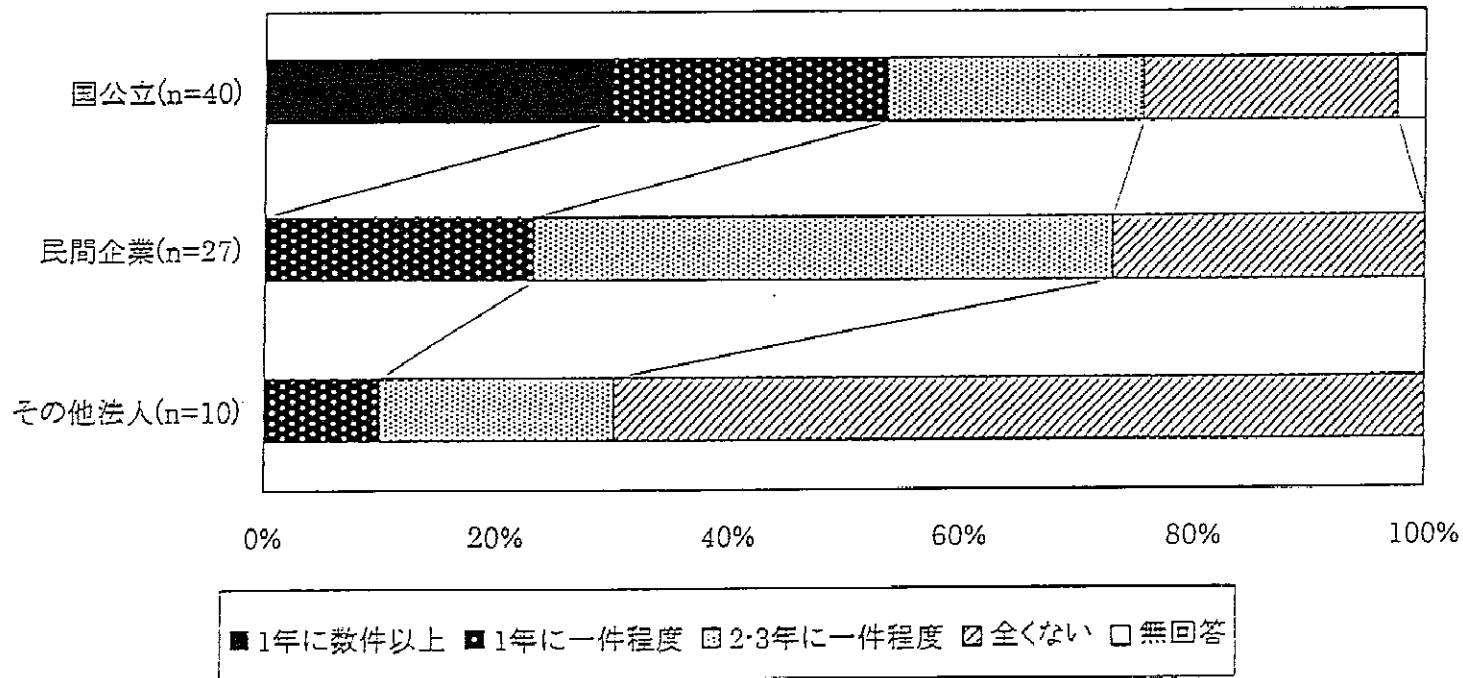
	全体		機関		
	機関数	(%)	50人未満	50人以上200人未満	200人以上
国公立	40	(51.28)	9 (30.00)	12 (57.14)	19 (70.37)
民間企業	27	(34.62)	16 (53.33)	6 (28.57)	5 (18.52)
その他法人	11	(14.10)	5 (16.67)	3 (14.29)	3 (11.11)
合計	78	(100.00)	30 (100.00)	21 (100.00)	27 (100.00)



図A-1 研究機関の属性

表Ⅱ-2 これまでに、職員の精神的な問題でお困りになったことはありますか？ (機関数・カッコ内は%)

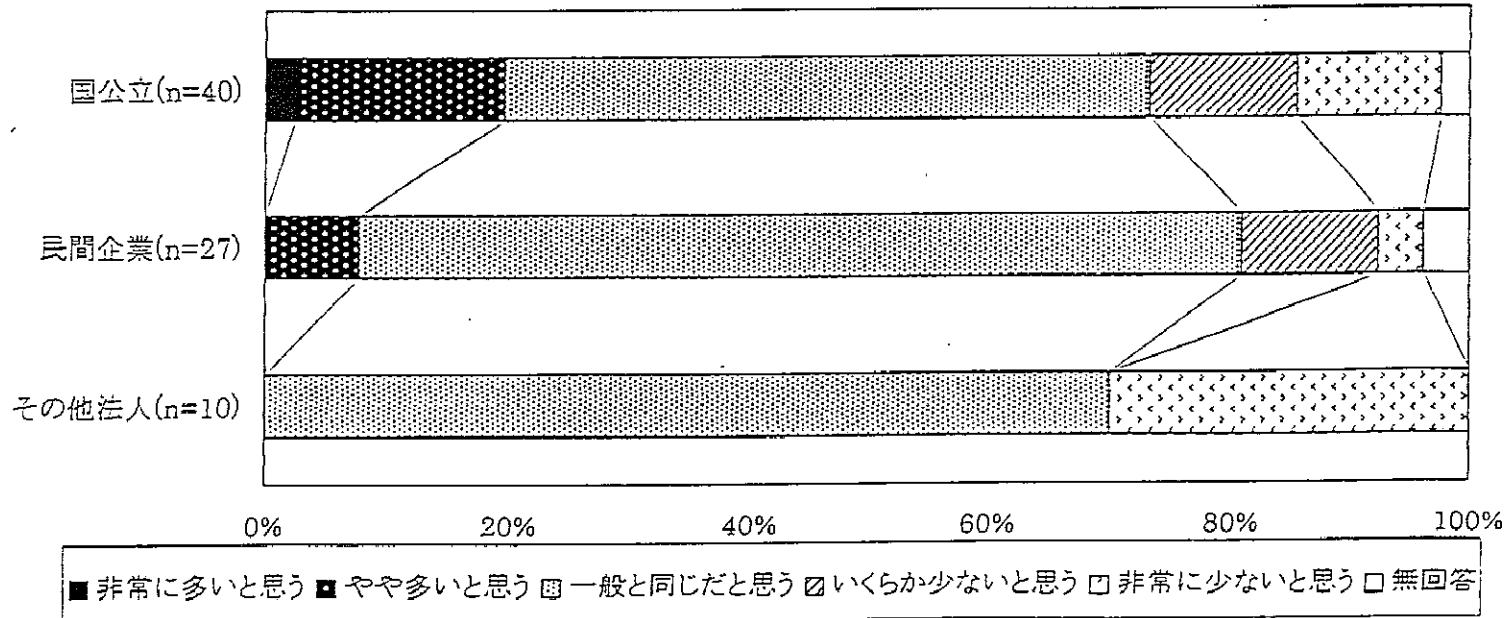
	全体(n=78)		機関					
			国公立(n=40)		民間企業(n=27)		その他法人(n=10)	
1年に数件以上	12	(15.6)	12	(29.3)	0	(0.0)	0	(0.0)
1年に一件程度	17	(22.1)	10	(24.4)	6	(23.1)	1	(10.0)
2-3年に一件程度	24	(31.2)	9	(22.0)	13	(50.0)	2	(20.0)
全くない	23	(29.9)	9	(22.0)	7	(26.9)	7	(70.0)
無回答	1	(1.3)	1	(2.4)	0	(0.0)	0	(0.0)



図A-2 所属別 過去の職員の精神的な問題件数

表Ⅱ-3 貴研究所等では、一般事業所に比べて職員の精神的な問題の多少について日頃どう感じていますか？  
(機関数・カッコ内は%)

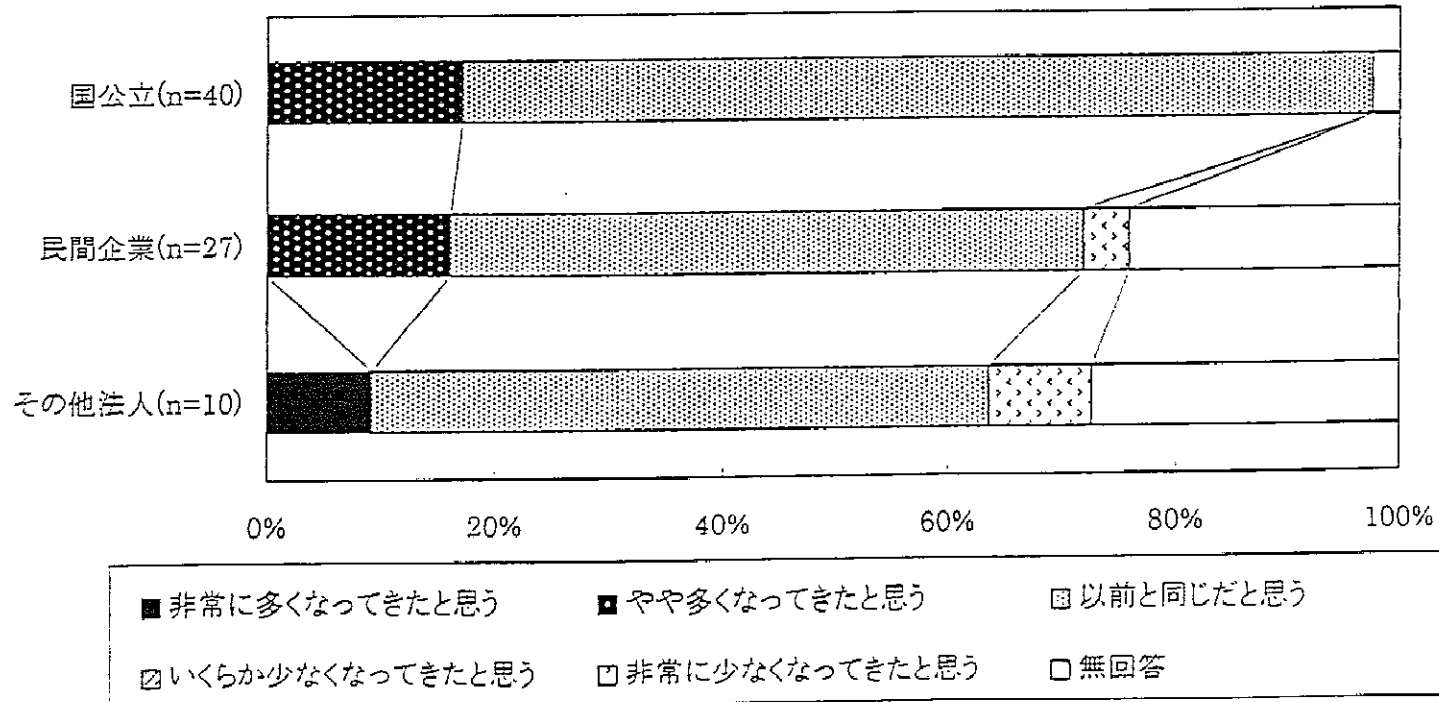
	全体(n=78)		機関					
			国公立(n=40)		民間企業(n=27)		その他法人(n=10)	
非常に多いと思う	1	(1.3)	1	(2.4)	0	(0.0)	0	(0.0)
やや多いと思う	9	(11.7)	7	(17.1)	2	(7.7)	0	(0.0)
一般と同じだと思う	48	(62.3)	22	(53.7)	19	(73.1)	7	(70.0)
いづらか少ないと思う	8	(10.4)	5	(12.2)	3	(11.5)	0	(0.0)
非常に少ないと思う	9	(11.7)	5	(12.2)	1	(3.8)	3	(30.0)
無回答	2	(2.6)	1	(2.4)	1	(3.8)	0	(0.0)



図A-3 所属別 メンタルヘルスケアの現状に関する項目

表Ⅱ-4 現在、以前に比べて精神的な問題の多少について日頃どう感じていますか？ (機関数・カッコ内は%)

	全体(n=78)		機関					
			国公立(n=40)		民間企業(n=27)		その他法人(n=10)	
非常に多くなってきたと思う	1	(1.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(9.1)
やや多くなってきたと思う	11	(14.3)	7	(17.1)	4	(16.0)	0	(0.0)
以前と同じだと思う	53	(68.8)	33	(80.5)	14	(56.0)	6	(54.5)
いくらか少なくなってきたと思う	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
非常に少なくなってきたと思う	2	(2.6)	0	(0.0)	1	(4.0)	1	(9.1)
無回答	10	(13.0)	1	(2.4)	6	(24.0)	3	(27.3)

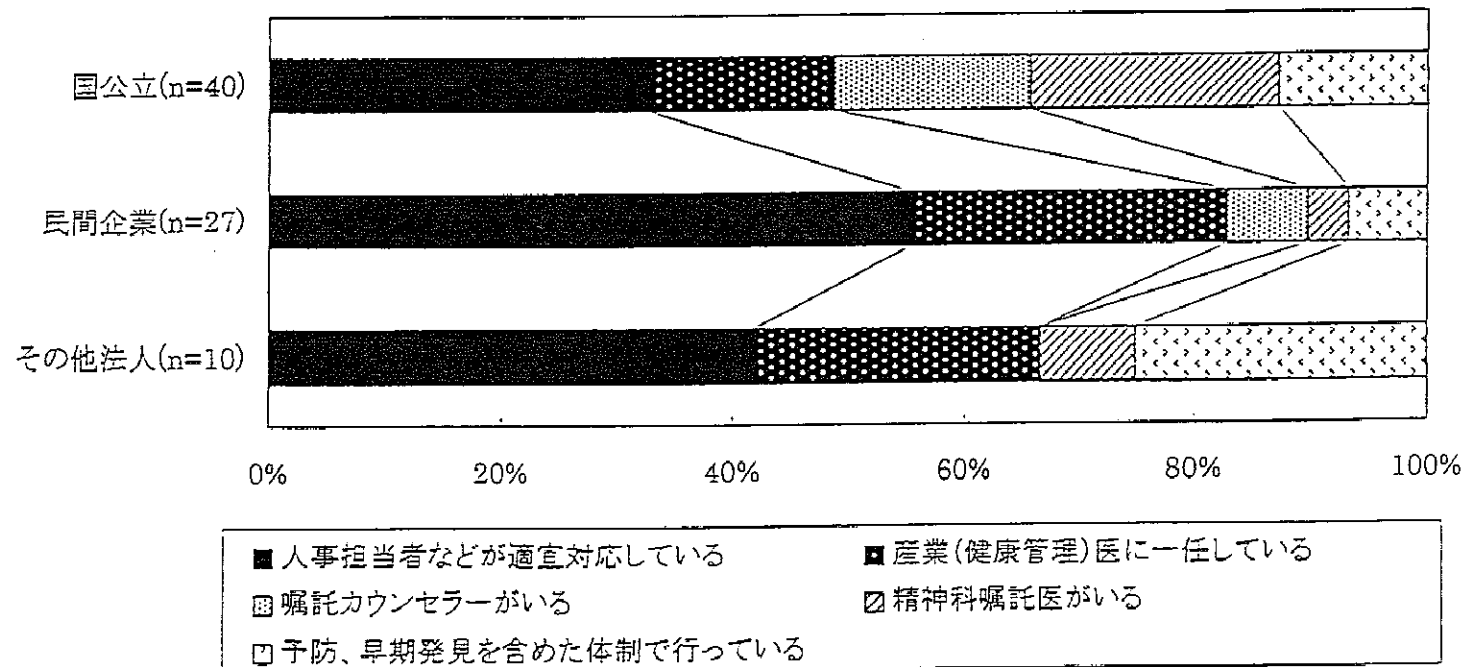


図A-4 所屬別 メンタルヘルスケアの今後に関する項目

表Ⅱ-5 所内でのメンタルヘルスケア体制は現在どうなっていますか？(複数回答)

(機関数・カッコ内は%)

	全体(n=78)		機関					
			国公立(n=40)		民間企業(n=27)		その他法人(n=10)	
人事担当者などが適宜対応している	44	(39.6)	23	(32.9)	16	(55.2)	5	(41.7)
産業(健康管理)医に一任している	22	(19.8)	11	(15.7)	8	(27.6)	3	(25.0)
嘱託カウンセラーがいる	14	(12.6)	12	(17.1)	2	(6.9)	0	(0.0)
精神科嘱託医がいる	17	(15.3)	15	(21.4)	1	(3.4)	1	(8.3)
予防、早期発見を含めた体制で行っている	14	(12.6)	9	(12.9)	2	(6.9)	3	(25.0)

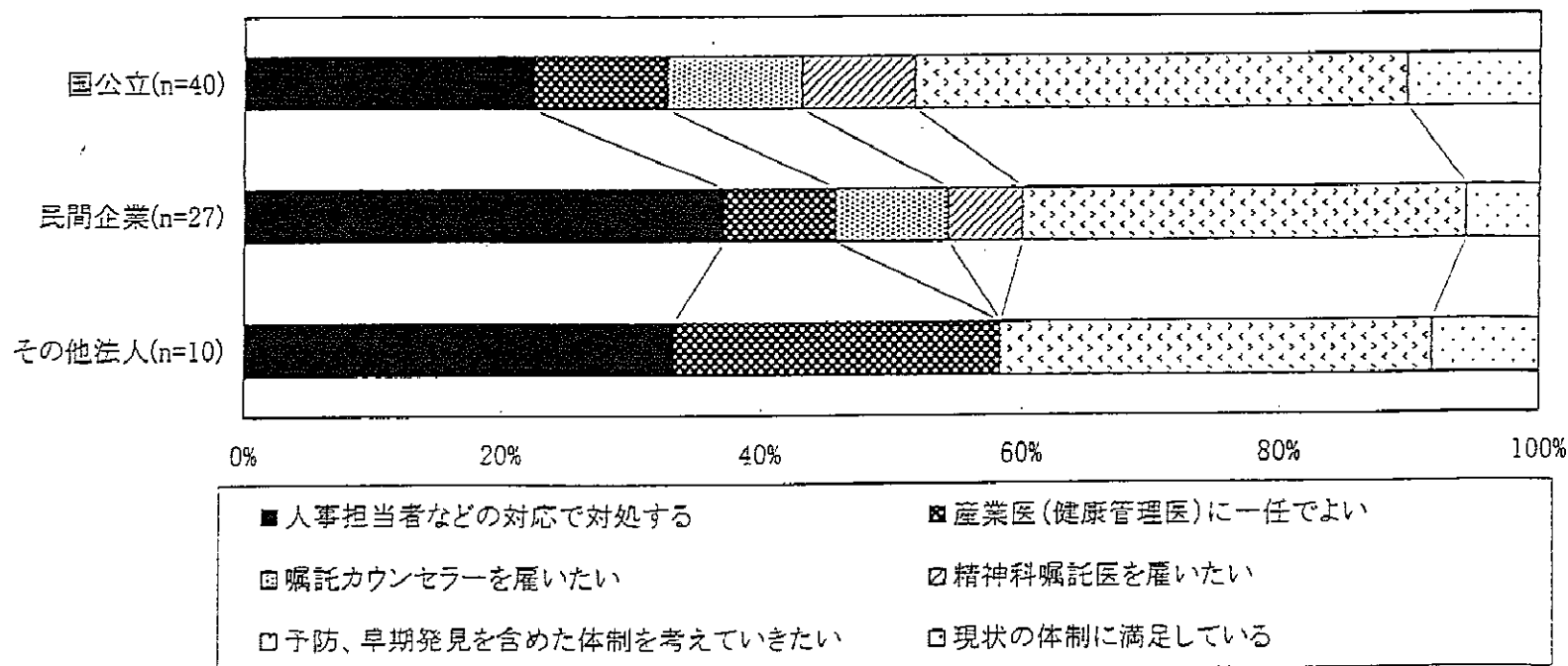


図A-5 所属別 メンタルヘルスケアの現在の対応に関する項目

表Ⅱ-6 今後所内のメンタルヘルス問題の相談体制はどのようにしていきたいですか？(複数回答)

(機関数・カッコ内は%)

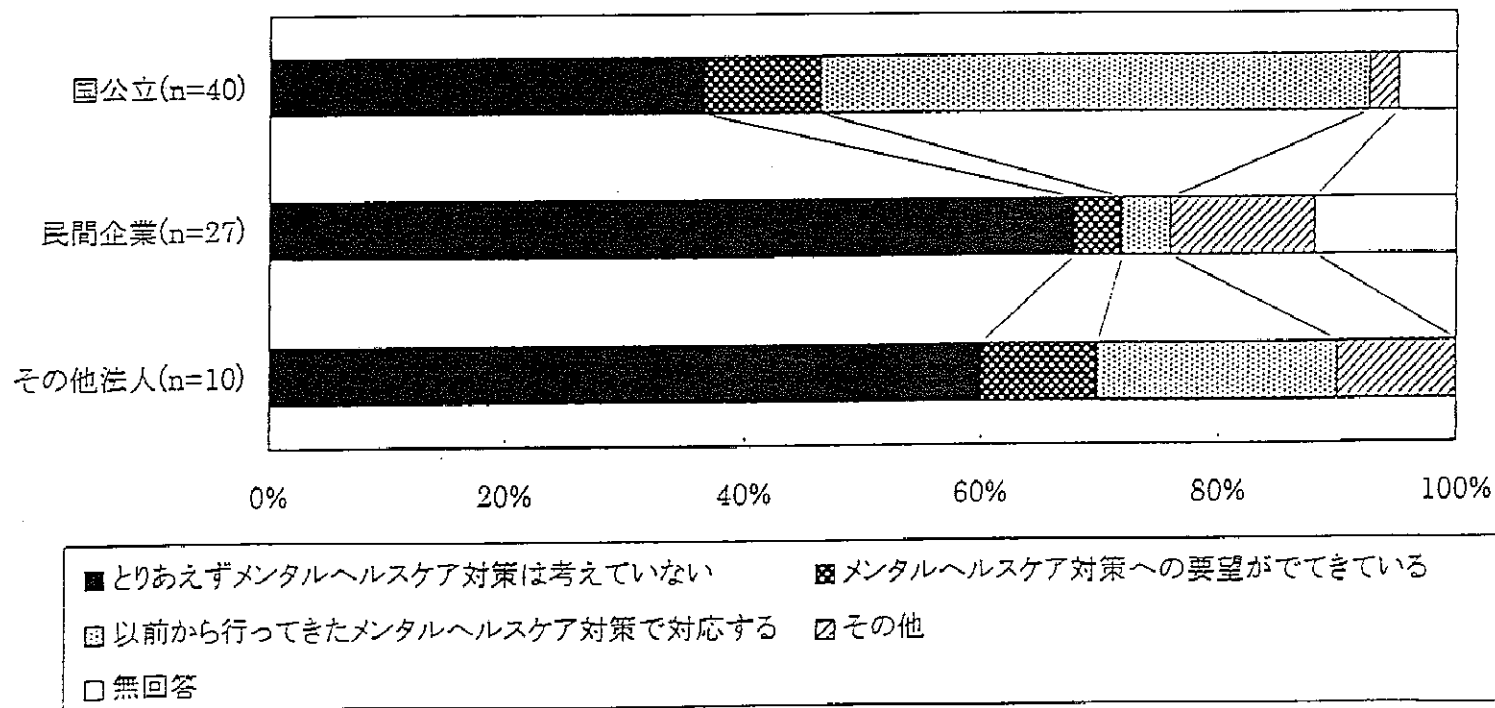
	全体(n=78)		機関					
			国公立(n=40)		民間企業(n=27)		その他法人(n=10)	
人事担当者などの対応で対処する	30	(28.6)	13	(22.4)	13	(37.1)	4	(33.3)
産業医(健康管理医)に一任でよい	12	(11.4)	6	(10.3)	3	(8.6)	3	(25.0)
嘱託カウンセラーを雇いたい	9	(8.6)	6	(10.3)	3	(8.6)	0	(0.0)
精神科嘱託医を雇いたい	7	(6.7)	5	(8.6)	2	(5.7)	0	(0.0)
予防、早期発見を含めた体制を考えていきたい	38	(36.2)	22	(37.9)	12	(34.3)	4	(33.3)
現状の体制に満足している	9	(8.6)	6	(10.3)	2	(5.7)	1	(8.3)



図A-6 所属別 メンタルヘルスケアの今後の対応に関する項目

表Ⅱ-7 今後問題になってくると予想される職員の精神的問題や職場の士気の低下などについて、現時点でどのようにお考えでしょうか？  
(機関数・カッコ内は%)

	全体(n=78)		機関					
			国公立(n=40)		民間企業(n=27)		その他法人(n=10)	
とりあえずメンタルヘルスケア対策は考えていない	38	(50.0)	15	(36.6)	17	(68.0)	6	(60.0)
メンタルヘルスケア対策への要望がでてきている	6	(7.9)	4	(9.8)	1	(4.0)	1	(10.0)
以前から行ってきたメンタルヘルスケア対策で対応する	22	(28.9)	19	(46.3)	1	(4.0)	2	(20.0)
その他	5	(6.6)	1	(2.4)	3	(12.0)	1	(10.0)
無回答	5	(6.6)	2	(4.9)	3	(12.0)	0	(0.0)

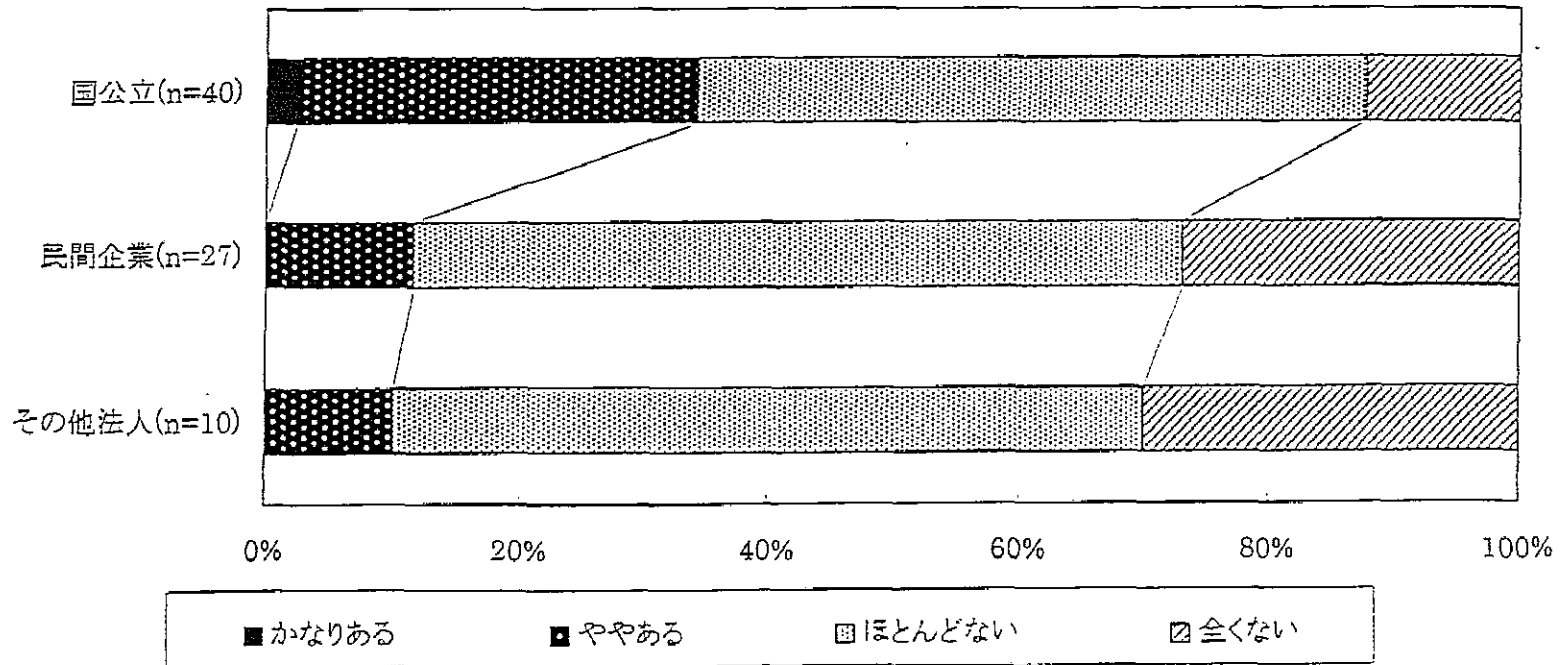


図A-7 所属別 メンタルヘルスケアの今後の対応に関する項目Ⅱ

表Ⅱ-8 職場において職員の精神的問題に関して偏見や差別などありますか？

(機関数・カッコ内は%)

	全体(n=78)		機関					
			国公立(n=40)		民間企業(n=27)		その他法人(n=10)	
かなりある	1	(1.3)	1	(2.4)	0	(0.0)	0	(0.0)
ややある	17	(22.1)	13	(31.7)	3	(11.5)	1	(10.0)
ほとんどない	44	(57.1)	22	(53.7)	16	(61.5)	6	(60.0)
全くない	15	(19.5)	5	(12.2)	7	(26.9)	3	(30.0)

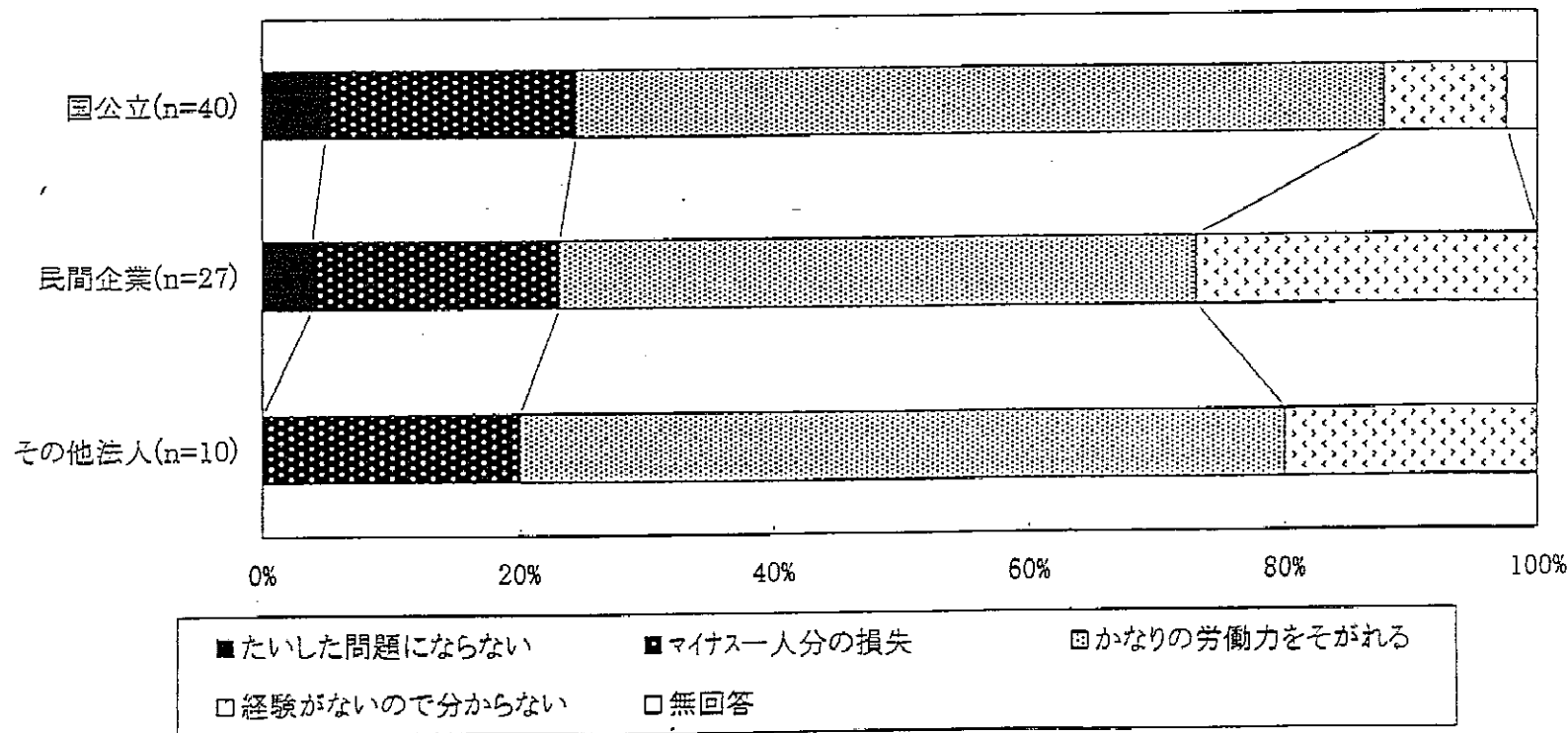


図A-8 所属別 職場復帰に関する項目



表Ⅱ-9 職場でメンタルヘルス不全者が、一人発生した場合の労働力の損失について、大まかな印象として、どの程度の大きさを感じますか？  
(機関数・カッコ内は%)

	全体(n=78)		機関					
			国公立(n=40)		民間企業(n=27)		その他法人(n=10)	
たいした問題にならない	3	(3.9)	2	(5.0)	1	(3.8)	0	(0.0)
マイナス一人分の損失	15	(19.7)	8	(20.0)	5	(19.2)	2	(20.0)
かなりの労働力をそがれる	45	(59.2)	26	(65.0)	13	(50.0)	6	(60.0)
経験がないので分からない	13	(17.1)	4	(10.0)	7	(26.9)	2	(20.0)
無回答	1	(1.3)	1	(2.5)	0	(0.0)	0	(0.0)

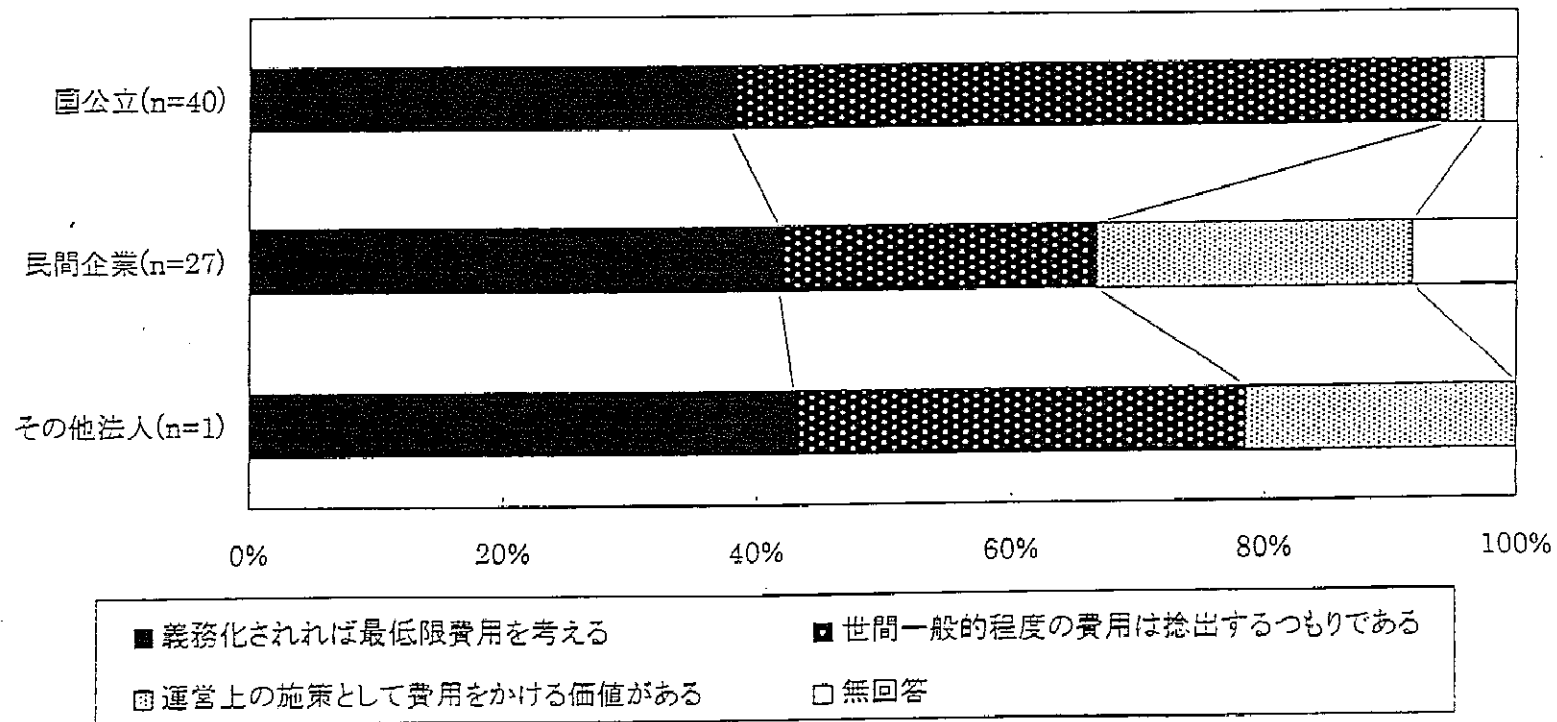


図A-9 所属別 労働力の損失の大きさに関する項目

表Ⅱ-10 新たにメンタルヘルス対策を始める場合、それにかかる費用についてのお考えをお聞かせ下さい

(機関数・カッコ内は%)

	全体(n=78)		機関			
	国公立(n=40)	民間企業(n=27)	その他法人(n=1)	無回答	その他	その他
義務化されれば最低限費用を考える	31 (40.3)	14 (37.8)	5 (41.7)	12 (42.9)		
世間一般的程度の費用は捻出するつもりである	34 (44.2)	21 (56.8)	3 (25.0)	10 (35.7)		
運営上の施策として費用をかける価値がある	10 (13.0)	1 (2.7)	3 (25.0)	6 (21.4)		
無回答	2 (2.6)	1 (2.7)	1 (8.3)	0 (0.0)		

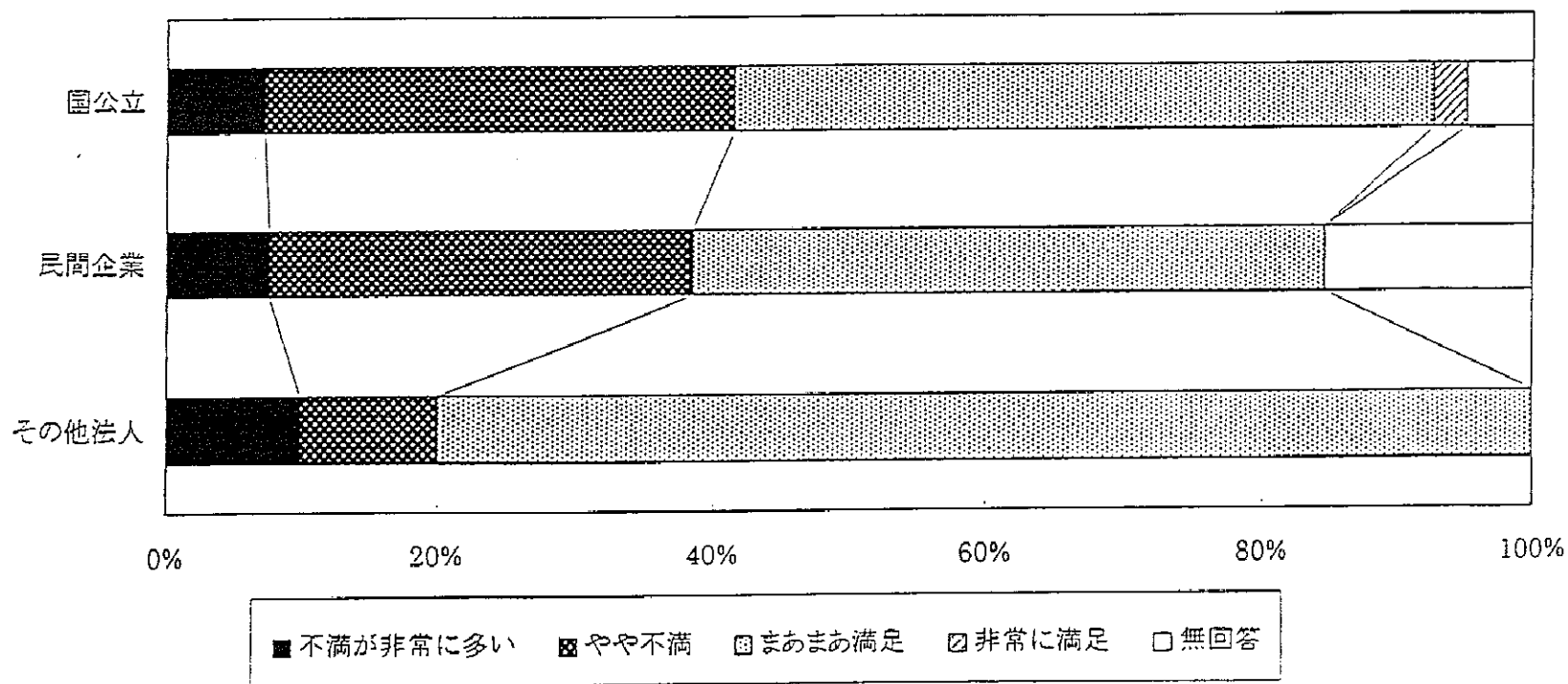


図A-10 所属別 メンタルヘルス対策への費用に関する項目

表Ⅱ-11 職場のメンタルヘルスマネジメントに対しては、どの程度満足されていますか？

(機関数・カッコ内は%)

	全体(n=78)		機関					
			国公立(n=40)		民間企業(n=27)		その他法人(n=10)	
不満が非常に多い	6	(7.8)	3	(7.3)	2	(7.7)	1	(10.0)
やや不満	23	(29.9)	14	(34.1)	8	(30.8)	1	(10.0)
まあまあ満足	41	(53.2)	21	(51.2)	12	(46.2)	8	(80.0)
非常に満足	1	(1.3)	1	(2.4)	0	(0.0)	0	(0.0)
無回答	6	(7.8)	2	(4.9)	4	(15.4)	0	(0.0)



図A-11 機関別職場のメンタルヘルスマネジメント状況への満足度

表Ⅲ 本調査 集計結果

1) 属性(性・年齢・職種)

	人数	人(%)
男性	4352	(80.8)
女性	1033	(19.2)
合計	5385	(100.0)

	人数	人(%)
教育・研究系	2816	(52.3)
事務系	1413	(26.2)
技術系	1156	(21.5)
合計	5385	(100.0)

	人数	人(%)
20代	917	(17.0)
30代	1929	(35.8)
40代	1463	(27.2)
50代	1076	(20.0)
合計	5385	(100.0)

表Ⅲ-4 職種と年代別と性別のクロス表

性別	年代別	職種			人(%)	
		教育・研究系	事務系	技術系	合計	
男性	20代	231 (9.4)	156 (16.6)	171 (17.8)	558	(12.8)
	30代	933 (38.0)	248 (26.4)	336 (35.1)	1517	(34.9)
	40代	729 (29.7)	280 (29.8)	263 (27.5)	1272	(29.2)
	50代	561 (22.9)	256 (27.2)	188 (19.6)	1005	(23.1)
	合計	2454 (100.0)	940 (100.0)	958 (100.0)	4352	(100.0)
女性	20代	110 (30.4)	153 (32.3)	96 (48.5)	359	(34.8)
	30代	170 (47.0)	174 (36.8)	68 (34.3)	412	(39.9)
	40代	59 (16.3)	110 (23.3)	22 (11.1)	191	(18.5)
	50代	23 (6.4)	36 (7.6)	12 (6.1)	71	(6.9)
	合計	362 (100.0)	473 (100.0)	198 (100.0)	1033	(100.0)

表Ⅲ-5 回収率60%未満の群と60%以上の群とを比較した性別と職種別

	人(%)											
	性別*				職種*					合計		
	男性		女性		教育・研究系		技術系	事務系				
60%未満	2299	(79.7)	585	(20.3)	1466	(50.8)	653	(22.6)	765	(26.5)	2884	(100.0)
60%以上	2053	(82.1)	448	(17.9)	1350	(54.0)	503	(20.1)	648	(25.9)	2501	(100.0)
合計	4352	(80.8)	1033	(19.2)	2816	(52.3)	1156	(21.5)	1413	(26.2)	5385	(100.0)

回収率と性別並びに職種別のクロス表における独立性の $\chi^2$ 乗検定:\* P<0.05

表Ⅲ-6 量的変数に関する機関別回収率60%未満の群と60%以上の群との比較

量的変数	機関別回収率		
	60%未満	60%以上	
年齢	39.91 ± 9.55	39.36 ± 9.78	*
量的負荷	2.49 ± 0.81	2.41 ± 0.79	***
対人関係の困難	2.08 ± 0.72	2.08 ± 0.72	
質的負荷	2.39 ± 0.75	2.34 ± 0.75	*
達成感	2.72 ± 0.84	2.69 ± 0.82	
同僚・上司の支援	2.61 ± 0.62	2.65 ± 0.61	*
裁量度	2.73 ± 0.75	2.76 ± 0.73	
職場でのライフイベント点数	5.02 ± 4.90	4.91 ± 4.64	
GHQ得点	6.29 ± 5.91	5.98 ± 5.83	*
GHQ身体的症状	2.25 ± 2.06	2.16 ± 2.08	
GHQ不安と不眠	2.04 ± 2.04	1.92 ± 1.99	*
GHQ社会的活動障害	1.39 ± 1.87	1.29 ± 1.77	*
GHQうつ状態	0.61 ± 1.51	0.61 ± 1.51	
SDS得点	30.78 ± 8.91	30.50 ± 8.95	
SOC得点	127.57 ± 22.31	128.29 ± 22.12	

60%未満の群と60%以上の群で独立した標本のt検定:

\*p<0.05  
\*\*\*p<0.001

2) 職業性ストレス簡易質問紙の各ストレス要因についての集計結果

表Ⅲ-7 量的負荷 人(%)

点数	人数	人(%)
1.00	244	(4.5)
1.25	328	(6.1)
1.50	342	(6.4)
1.75	397	(7.4)
2.00	648	(12.0)
2.25	644	(12.0)
2.50	560	(10.4)
2.75	536	(10.0)
3.00	571	(10.6)
3.25	355	(6.6)
3.50	248	(4.6)
3.75	193	(3.6)
4.00	319	(5.9)

合計 5385 (100.0)

表Ⅲ-8 対人関係の困難

点数	人数	人(%)
1.00	571	(10.6)
1.33	625	(11.6)
1.67	761	(14.1)
2.00	1344	(25.0)
2.33	779	(14.5)
2.67	505	(9.4)
3.00	362	(6.7)
3.33	177	(3.3)
3.67	116	(2.2)
4.00	145	(2.7)

合計 5385 (100.0)

表Ⅲ-9 質的負荷 人(%)

点数	人数	人(%)
1.00	360	(6.7)
1.33	359	(6.7)
1.67	472	(8.8)
2.00	1099	(20.4)
2.33	870	(16.2)
2.67	746	(13.9)
3.00	740	(13.7)
3.33	310	(5.8)
3.67	202	(3.8)
4.00	227	(4.2)

合計 5385 (100.0)

表Ⅲ-10 達成感 人(%)

点数	人数	人(%)
1.00	312	(5.8)
1.33	167	(3.1)
1.67	203	(3.8)
2.00	950	(17.6)
2.33	462	(8.6)
2.67	465	(8.6)
3.00	1576	(29.3)
3.33	243	(4.5)
3.67	219	(4.1)
4.00	788	(14.6)

合計 5385 (100.0)

表Ⅲ-11 同僚・上司の支援

点数	人数	人(%)
1.00	53	(1.0)
1.25	84	(1.6)
1.50	162	(3.0)
1.75	294	(5.5)
2.00	579	(10.8)
2.25	605	(11.2)
2.50	741	(13.8)
2.75	948	(17.6)
3.00	999	(18.6)
3.25	332	(6.2)
3.50	242	(4.5)
3.75	196	(3.6)
4.00	150	(2.8)

合計 5385 (100.0)

表Ⅲ-12 裁量度 人(%)

点数	人数	人(%)
1.00	147	(2.7)
1.33	160	(3.0)
1.67	253	(4.7)
2.00	734	(13.6)
2.33	569	(10.6)
2.67	754	(14.0)
3.00	1595	(29.6)
3.33	284	(5.3)
3.67	339	(6.3)
4.00	550	(10.2)

合計 5385 (100.0)

表Ⅲ-13 性別・職種別 職業性ストレス簡易質問紙の各項目得点

平均±標準偏差

性別	職業性ストレス	職種			合計
		教育・研究系	技術系	事務系	
男性	量的負荷	2.68 ± 0.75	2.37 ± 0.77	2.22 ± 0.77	2.52 ± 0.78
	対人関係の困難	2.07 ± 0.74	2.08 ± 0.78	2.09 ± 0.77	2.08 ± 0.82
	質的負荷	2.52 ± 0.61	2.36 ± 0.59	2.25 ± 0.59	2.42 ± 0.61
	達成感	3.02 ± 0.71	2.61 ± 0.71	2.23 ± 0.70	2.76 ± 0.71
	同僚・上司の支援	2.65 ± 0.71	2.59 ± 0.74	2.53 ± 0.75	2.61 ± 0.73
	裁量度	2.98 ± 0.69	2.63 ± 0.71	2.43 ± 0.69	2.78 ± 0.73
女性	量的負荷	2.42 ± 0.79	2.36 ± 0.83	1.95 ± 0.79	2.19 ± 0.83
	対人関係の困難	2.1 ± 0.74	2.16 ± 0.79	2.05 ± 0.73	2.09 ± 0.85
	質的負荷	2.34 ± 0.66	2.31 ± 0.65	1.89 ± 0.66	2.13 ± 0.66
	達成感	2.93 ± 0.79	2.72 ± 0.76	2.07 ± 0.75	2.5 ± 0.76
	同僚・上司の支援	2.74 ± 0.74	2.74 ± 0.78	2.67 ± 0.76	2.71 ± 0.79
	裁量度	2.9 ± 0.69	2.37 ± 0.69	2.39 ± 0.70	2.56 ± 0.74
合計	量的負荷	2.65 ± 0.76	2.37 ± 0.78	2.13 ± 0.79	2.45 ± 0.80
	対人関係の困難	2.08 ± 0.74	2.1 ± 0.79	2.08 ± 0.76	2.08 ± 0.83
	質的負荷	2.49 ± 0.62	2.35 ± 0.60	2.13 ± 0.62	2.37 ± 0.62
	達成感	3.01 ± 0.73	2.62 ± 0.72	2.18 ± 0.71	2.71 ± 0.72
	同僚・上司の支援	2.66 ± 0.71	2.61 ± 0.74	2.58 ± 0.77	2.63 ± 0.75
	裁量度	2.97 ± 0.69	2.59 ± 0.72	2.41 ± 0.70	2.74 ± 0.74

3)ライフイベントについての集計結果

表Ⅲ-14 職場でのライフイベント  
得点 人(%)

点数	人数	人(%)
0	982	(18.2)
1	615	(11.4)
2	519	(9.6)
3	476	(8.8)
4	408	(7.6)
5	377	(7.0)
6	339	(6.3)
7	302	(5.6)
8	235	(4.4)
9	222	(4.1)
10	191	(3.5)
11	157	(2.9)
12	130	(2.4)
13	101	(1.9)
14	81	(1.5)
15	55	(1.0)
16	49	(0.9)
17	37	(0.7)
18	28	(0.5)
19	19	(0.4)
20	18	(0.3)
21	14	(0.3)
22	6	(0.1)
23	9	(0.2)
24	4	(0.1)
25	1	(0.0)
26	4	(0.1)
27	1	(0.0)
28	2	(0.0)
29	1	(0.0)
30	1	(0.0)
34	1	(0.0)
合計	5385	(100.0)

表Ⅲ-15 職場でのライフイベント  
の総合評価 人(%)

	人数	人(%)
弱	2116	(39.3)
中	1600	(29.7)
強	1669	(31.0)
合計	5385	(100.0)

表Ⅲ-16 性別・職種別・職場でのライフイベント得点

平均±標準偏差

性別	職種						合計	平均±標準偏差
	教育・研究系		技術系		事務系			
男性	4.96 ±	4.84	4.99 ±	4.78	5.69 ±	5.12	5.13 ±	4.90
女性	4.11 ±	3.93	4.77 ±	4.79	4.28 ±	4.11	4.32 ±	4.19
合計	4.85 ±	4.74	4.96 ±	4.78	5.22 ±	4.85	4.97 ±	4.78



4) SDS得点についての集計結果

表Ⅲ-17 SDS得点 人(%)

点数	人数	人(%)
20	386	(7.2)
21	278	(5.2)
22	293	(5.4)
23	287	(5.3)
24	282	(5.2)
25	278	(5.2)
26	268	(5.0)
27	250	(4.6)
28	261	(4.8)
29	271	(5.0)
30	244	(4.5)
31	234	(4.3)
32	214	(4.0)
33	191	(3.5)
34	193	(3.6)
35	160	(3.0)
36	145	(2.7)
37	159	(3.0)
38	130	(2.4)
39	111	(2.1)
40	89	(1.7)
41	77	(1.4)
42	83	(1.5)
43	47	(0.9)
44	56	(1.0)
45	42	(0.8)
46	38	(0.7)
47	38	(0.7)
48	32	(0.6)
49	33	(0.6)
50	24	(0.4)
51	21	(0.4)
52	20	(0.4)
53	15	(0.3)
54	20	(0.4)
55	14	(0.3)
56	12	(0.2)
57	11	(0.2)
58	10	(0.2)
59	10	(0.2)
60	12	(0.2)
61	2	(0.0)
62	8	(0.1)
63	3	(0.1)
64	4	(0.1)
65	6	(0.1)
66	1	(0.0)
67	1	(0.0)
69	2	(0.0)
70	2	(0.0)
71	1	(0.0)
72	5	(0.1)
74	1	(0.0)
75	1	(0.0)
76	1	(0.0)
80	8	(0.1)
合計	5385	(100.0)

表Ⅲ-18 抑うつ度 人(%)

点数	人数	人(%)
健康群	4635	(86.1)
軽度抑うつ群	535	(9.9)
うつ病群	215	(4.0)
合計	5385	(100.0)

表Ⅲ-19 自殺念慮 人(%)

	人数	人(%)
無し	5183	(96.2)
有り	202	(3.8)
合計	5385	(100.0)

表Ⅲ-20 性別・職種別のSDS得点 平均±標準偏差

性別	職種			合計
	教育・研究系	技術系	事務系	
男性	29.72 ± 8.57	30.29 ± 8.37	31.40 ± 9.65	30.21 ± 8.80
女性	32.03 ± 8.89	33.12 ± 9.13	32.58 ± 9.54	32.49 ± 9.24
合計	30.02 ± 8.65	30.78 ± 8.57	31.80 ± 9.63	30.65 ± 8.93

5) GHQについての集計結果

表Ⅲ-21 GHQ得点

点数	人数	人(%)
0	834	(15.5)
1	545	(10.1)
2	492	(9.1)
3	377	(7.0)
4	371	(6.9)
5	394	(7.3)
6	338	(6.3)
7	283	(5.3)
8	249	(4.6)
9	221	(4.1)
10	212	(3.9)
11	176	(3.3)
12	126	(2.3)
13	137	(2.5)
14	88	(1.6)
15	80	(1.5)
16	70	(1.3)
17	71	(1.3)
18	57	(1.1)
19	45	(0.8)
20	42	(0.8)
21	35	(0.6)
22	40	(0.7)
23	27	(0.5)
24	20	(0.4)
25	20	(0.4)
26	10	(0.2)
27	11	(0.2)
28	14	(0.3)
合計	5385	(100.0)

表Ⅲ-22 GHQ身体的症状

点数	人数	人(%)
0	1561	(29.0)
1	906	(16.8)
2	831	(15.4)
3	620	(11.5)
4	552	(10.3)
5	425	(7.9)
6	305	(5.7)
7	185	(3.4)
合計	5385	(100.0)

表Ⅲ-23 GHQ社会的活動障害

点数	人数	人(%)
0	2612	(48.5)
1	1035	(19.2)
2	608	(11.3)
3	408	(7.6)
4	245	(4.5)
5	181	(3.4)
6	187	(3.5)
7	109	(2.0)
合計	5385	(100.0)

表Ⅲ-24 GHQ不安と不眠

点数	人数	人(%)
0	1861	(34.6)
1	879	(16.3)
2	725	(13.5)
3	634	(11.8)
4	527	(9.8)
5	355	(6.6)
6	269	(5.0)
7	135	(2.5)
合計	5385	(100.0)

表Ⅲ-25 GHQうつ状態

点数	人数	人(%)
0	4213	(78.2)
1	488	(9.1)
2	194	(3.6)
3	114	(2.1)
4	95	(1.8)
5	94	(1.7)
6	83	(1.5)
7	104	(1.9)
合計	5385	(100.0)

表Ⅲ-26 性別・職種別のGHQ得点

平均±標準偏差

性別	職種						合計
	教育・研究系		技術系		事務系		
男性	5.49	± 5.41	5.74	± 5.65	6.70	± 6.51	5.81 ± 5.74
女性	7.25	± 5.89	8.09	± 6.22	7.60	± 6.51	7.57 ± 6.24
合計	5.72	± 5.51	6.15	± 5.81	7.00	± 6.52	6.15 ± 5.88

表Ⅲ-27 性別・職種別のGHQ各下位尺度得点

平均±標準偏差

性別		職種						合計
		教育・研究系		技術系		事務系		
男性	GHQ身体的症状	1.99	± 1.96	2.05	± 0.07	2.24	± 2.14	2.06 ± 2.02
	GHQ不安と不眠	1.83	± 1.94	1.85	± 0.06	2.10	± 2.14	1.89 ± 1.99
	GHQ社会的活動障害	1.20	± 1.70	1.31	± 0.06	1.53	± 2.03	1.30 ± 1.80
	GHQうつ状態	0.48	± 1.33	0.54	± 0.04	0.83	± 1.78	0.57 ± 1.45
女性	GHQ身体的症状	2.82	± 2.15	3.10	± 2.17	2.76	± 2.16	2.85 ± 2.16
	GHQ不安と不眠	2.24	± 1.98	2.54	± 2.09	2.37	± 2.13	2.36 ± 2.08
	GHQ社会的活動障害	1.49	± 1.81	1.59	± 1.93	1.59	± 2.00	1.56 ± 1.92
	GHQうつ状態	0.70	± 1.50	0.85	± 1.80	0.87	± 1.79	0.81 ± 1.70
合計	GHQ身体的症状	2.09	± 2.01	2.23	± 2.09	2.42	± 2.16	2.21 ± 2.07
	GHQ不安と不眠	1.88	± 1.95	1.97	± 2.02	2.19	± 2.14	1.98 ± 2.02
	GHQ社会的活動障害	1.24	± 1.72	1.36	± 1.81	1.55	± 2.02	1.35 ± 1.82
	GHQうつ状態	0.51	± 1.35	0.59	± 1.46	0.84	± 1.79	0.61 ± 1.51

6) SOC得点についての集計結果

表Ⅲ-28 SOC得点 人(%)

点数	人数	人(%)
29-39	1	(0.04)
40-49	10	(0.41)
50-59	18	(0.73)
60-69	27	(1.10)
70-79	60	(2.44)
80-89	98	(3.99)
90-99	245	(9.98)
100-109	479	(19.50)
110-119	996	(40.55)
120-129	995	(40.51)
130-139	880	(35.83)
140-149	669	(27.24)
150-159	469	(19.10)
160-169	269	(10.95)
170-179	127	(5.17)
180-189	28	(1.14)
190-203	14	(0.57)
合計	2456	(100.00)

表Ⅲ-29 性別・職種別・SOC得点

性別	平均±標準偏差								
	教育・研究系			技術系			事務系		
男性	131.0	± 22.2	126.8	± 21.1	123.1	± 22.5	128.3	± 22.3	
女性	129.0	± 19.9	125.7	± 22.3	124.0	± 23.0	126.1	± 21.9	
合計	130.7	± 22.0	126.6	± 21.3	123.4	± 22.7	127.9	± 22.2	

表VI 三元配置分散分析の結果

表IV-1 性別・職種別・年代別の量的負荷に対する分散分析表

ソース	タイプ III 平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
修正モデル	374.006 <sup>a</sup>	23	16.261	28.240	0.000
切片	9894.570	1	9894.570	17183.538	0.000
性別	4.011	1	4.011	6.965	0.008
職種	101.463	2	50.732	88.104	0.000
年代	28.276	3	9.425	16.369	0.000
性別*職種	9.912	2	4.956	8.607	0.000
性別*年代	9.732	3	3.244	5.634	0.001
職種*年代	7.439	6	1.240	2.153	0.045
性別*職種*年代	8.258	6	1.376	2.390	0.026
誤差	3086.954	5361	0.576		
総和	35892.313	5385			
修正総和	3460.960	5384			

a: R2乗 = .108 (調整済みR2乗 = .104)

\*: 交互作用

表IV-2 性別・職種別・年代別の対人関係の困難に対する分散分析表

ソース	タイプ III 平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
修正モデル	17.088 <sup>a</sup>	23	0.743	1.438	0.081
切片	7814.296	1	7814.296	15119.374	0.000
性別	0.399	1	0.399	0.772	0.380
職種	2.429	2	1.215	2.350	0.095
年代	0.857	3	0.286	0.553	0.646
性別*職種	4.231	2	2.115	4.093	0.017
性別*年代	0.887	3	0.296	0.572	0.633
職種*年代	5.785	6	0.964	1.865	0.083
性別*職種*年代	1.712	6	0.285	0.552	0.769
誤差	2770.779	5361	0.517		
総和	26108.556	5385			
修正総和	2787.867	5384			

a: R2乗 = .006 (調整済みR2乗 = .002)

\*: 交互作用

表IV-3 性別・職種別・年代別の質的負荷に対する分散分析表

ソース	タイプ III 平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
修正モデル	216.171 <sup>a</sup>	23	9.399	17.867	0.000
切片	9191.838	1	9191.838	17473.230	0.000
性別	16.078	1	16.078	30.563	0.000
職種	48.332	2	24.166	45.939	0.000
年代	3.597	3	1.199	2.279	0.077
性別*職種	7.195	2	3.598	6.839	0.001
性別*年代	4.909	3	1.636	3.110	0.025
職種*年代	1.614	6	0.269	0.511	0.800
性別*職種*年代	3.517	6	0.586	1.114	0.351
誤差	2820.168	5361	0.526		
総和	33199.111	5385			
修正総和	3036.339	5384			

a: R2乗 = .071 (調整済みR2乗 = .067)

\*: 交互作用

表IV-4 性別・職種別・年代別の達成感に対する分散分析表

ソース	タイプ III 平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
修正モデル	687.471 <sup>a</sup>	23	29.890	52.601	0.000
切片	11901.783	1	11901.783	20945.080	0.000
性別	1.171	1	1.171	2.061	0.151
職種	282.451	2	141.225	248.532	0.000
年代	3.208	3	1.069	1.882	0.130
性別*職種	2.171	2	1.086	1.911	0.148
性別*年代	0.483	3	0.161	0.284	0.837
職種*年代	3.797	6	0.633	1.114	0.351
性別*職種*年代	2.938	6	0.490	0.862	0.522
誤差	3046.322	5361	0.568		
総和	43231.111	5385			
修正総和	3733.793	5384			

a: R2乗 = .184 (調整済みR2乗 = .181)

\*: 交互作用

表IV-5 性別・職種別・年代別の同僚・上司の支援に対する分散分析表

ソース	タイプ III 平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
修正モデル	62.913 <sup>a</sup>	23	2.735	7.366	0.000
切片	12380.213	1	12380.213	33340.586	0.000
性別	2.081	1	2.081	5.603	0.018
職種	2.925	2	1.462	3.938	0.020
年代	19.496	3	6.499	17.502	0.000
性別*職種	1.470	2	0.735	1.979	0.138
性別*年代	0.336	3	0.112	0.302	0.824
職種*年代	3.404	6	0.567	1.528	0.165
性別*職種*年代	3.266	6	0.544	1.466	0.186
誤差	1990.677	5361	0.371		
総和	39246.938	5385			
修正総和	2053.589	5384			

a: R2乗 = .031 (調整済みR2乗 = .026)

\*: 交互作用

表IV-6 性別・職種別・年代別の裁量度に対する分散分析表

ソース	タイプ III 平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
修正モデル	358.422 <sup>a</sup>	23	15.584	32.547	0.000
切片	12253.673	1	12253.673	25592.310	0.000
性別	4.941	1	4.941	10.320	0.001
職種	137.939	2	68.970	144.046	0.000
年代	3.858	3	1.286	2.686	0.045
性別*職種	1.168	2	0.584	1.219	0.296
性別*年代	0.166	3	0.055	0.116	0.951
職種*年代	3.502	6	0.584	1.219	0.293
性別*職種*年代	4.341	6	0.724	1.511	0.170
誤差	2566.862	5361	0.479		
総和	43398.111	5385			
修正総和	2925.285	5384			

a: R2乗 = .123 (調整済みR2乗 = .119)

\*: 交互作用

表IV-7 性別・職種別・年代別の職場でのライフイベント得点に対する分散分析表

ソース	タイプ III 平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
修正モデル	2369.287 <sup>a</sup>	23	103.012	4.574	0.000
切片	40882.567	1	40882.567	1815.476	0.000
性別	196.936	1	196.936	8.745	0.003
職種	72.642	2	36.321	1.613	0.199
年代	434.905	3	144.968	6.438	0.000
性別*職種	65.183	2	32.592	1.447	0.235
性別*年代	111.075	3	37.025	1.644	0.177
職種*年代	108.649	6	18.108	0.804	0.567
性別*職種*年代	222.419	6	37.070	1.646	0.130
誤差	120723.959	5361	22.519		
総和	256123.000	5385			
修正総和	123093.246	5384			

a: R2乗 = .019 (調整済みR2乗 = .015)

\*: 交互作用

表IV-8 性別・職種別・年代別のSDS得点に対する分散分析表

ソース	タイプ III 平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
修正モデル	13310.406 <sup>a</sup>	23	578.713	7.461	0.000
切片	1762644.285	1	1762644.285	22724.265	0.000
性別	1271.242	1	1271.242	16.389	0.000
職種	757.374	2	378.687	4.882	0.008
年代	1621.474	3	540.491	6.968	0.000
性別*職種	432.370	2	216.185	2.787	0.062
性別*年代	251.424	3	83.808	1.080	0.356
職種*年代	512.011	6	85.335	1.100	0.359
性別*職種*年代	384.014	6	64.002	0.825	0.550
誤差	415834.624	5361	77.567		
総和	5487123.000	5385			
修正総和	429145.030	5384			

a: R2乗 = .031 (調整済みR2乗 = .027)

\*: 交互作用

表IV-9 性別・職種別・年代別のGHQ得点に対する分散分析表

ソース	タイプ III 平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
修正モデル	5953.066 <sup>a</sup>	23	258.829	7.708	0.000
切片	77848.961	1	77848.961	2318.272	0.000
性別	716.742	1	716.742	21.344	0.000
職種	422.425	2	211.212	6.290	0.002
年代	769.329	3	256.443	7.637	0.000
性別*職種	118.288	2	59.144	1.761	0.172
性別*年代	161.183	3	53.728	1.600	0.187
職種*年代	87.923	6	14.654	0.436	0.855
性別*職種*年代	132.635	6	22.106	0.658	0.683
誤差	180025.624	5361	33.581		
総和	389410.000	5385			
修正総和	185978.690	5384			

a: R2乗 = .032 (調整済みR2乗 = .028)

\*: 交互作用

表IV-10 性別・職種別・年代別のSOC得点に対する分散分析表

ソース	タイプ III 平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
修正モデル	98476.833 <sup>a</sup>	23	4281.601	8.965	0.000
切片	28661905.273	1	28661905.273	60015.951	0.000
性別	34.181	1	34.181	0.072	0.789
職種	17800.821	2	8900.411	18.637	0.000
年代	8191.423	3	2730.474	5.717	0.001
性別*職種	2096.513	2	1048.256	2.195	0.111
性別*年代	1836.098	3	612.033	1.282	0.279
職種*年代	1145.727	6	190.954	0.400	0.880
性別*職種*年代	1369.365	6	228.228	0.478	0.825
誤差	2560260.580	5361	477.571		
総和	90761182.000	5385			
修正総和	2658737.413	5384			

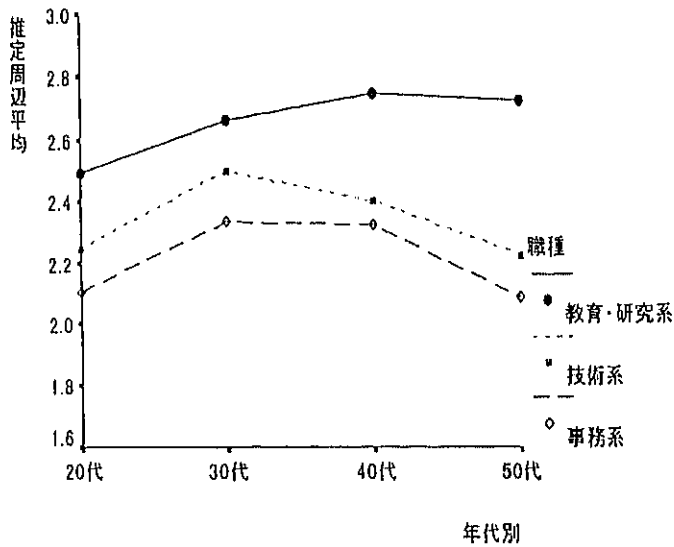
a: R2乗 = .037 (調整済みR2乗 = .033)

\*: 交互作用



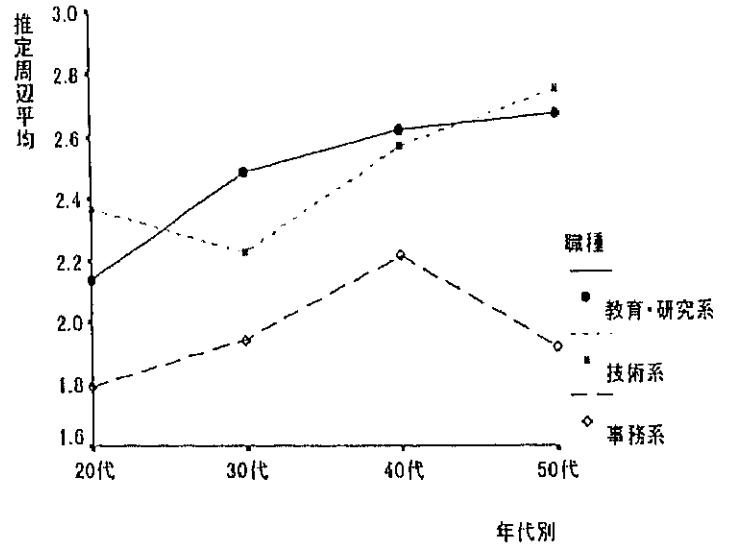
量的負荷の推定周辺平均

性別 = 男性



量的負荷の推定周辺平均

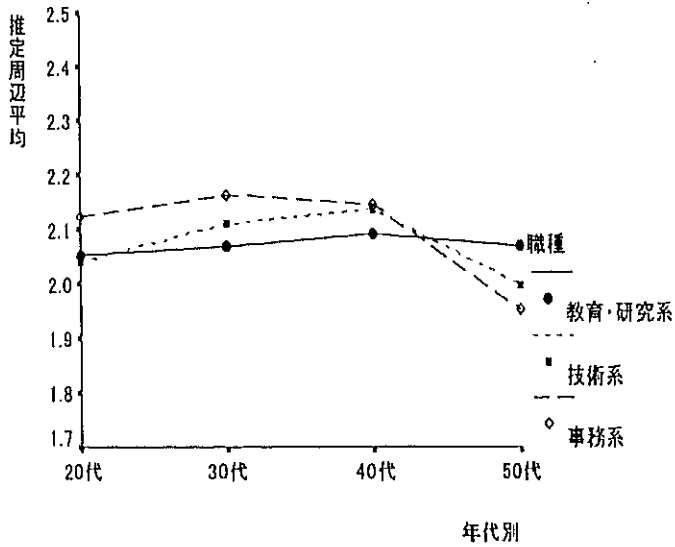
性別 = 女性



図B-1 量的負荷の推定周辺平均

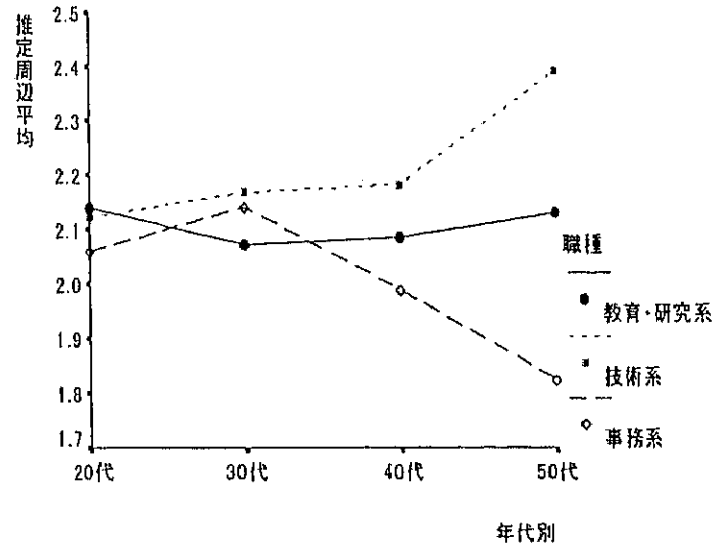
対人関係の困難の推定周辺平均

性別 = 男性



対人関係の困難の推定周辺平均

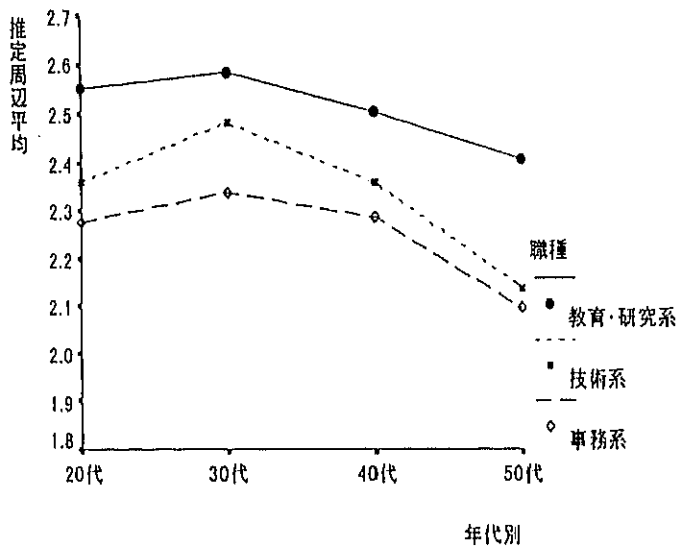
性別 = 女性



図B-2 対人関係の困難の推定周辺平均

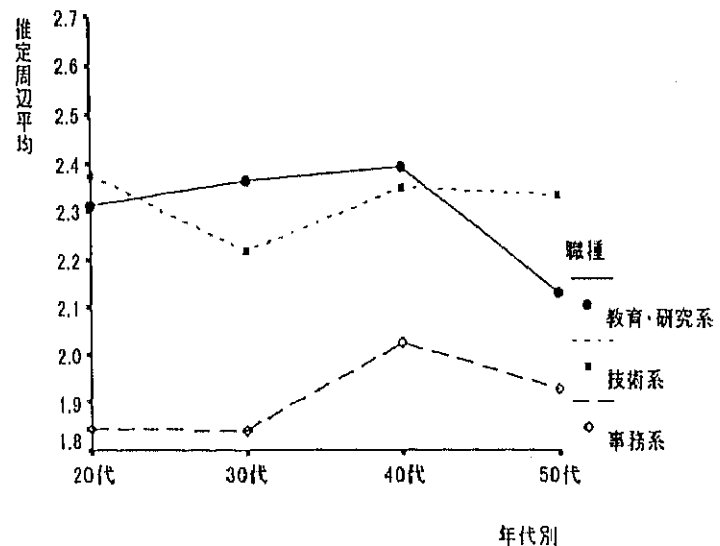
質的負荷の推定周辺平均

性別 = 男性



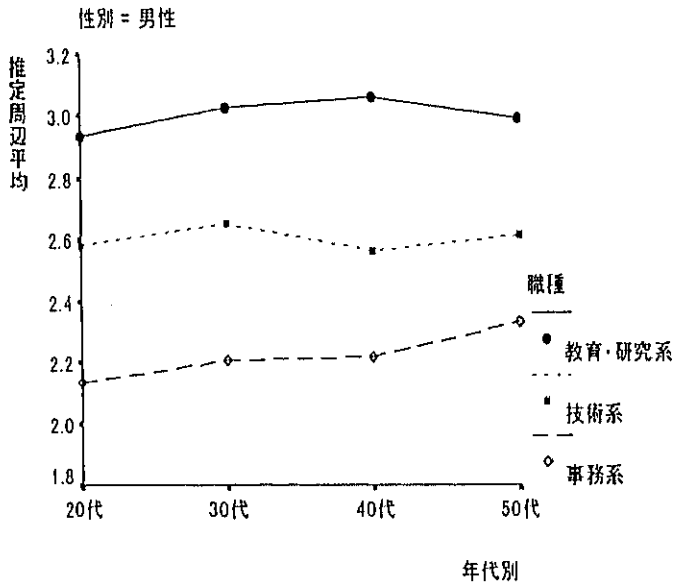
質的負荷の推定周辺平均

性別 = 女性

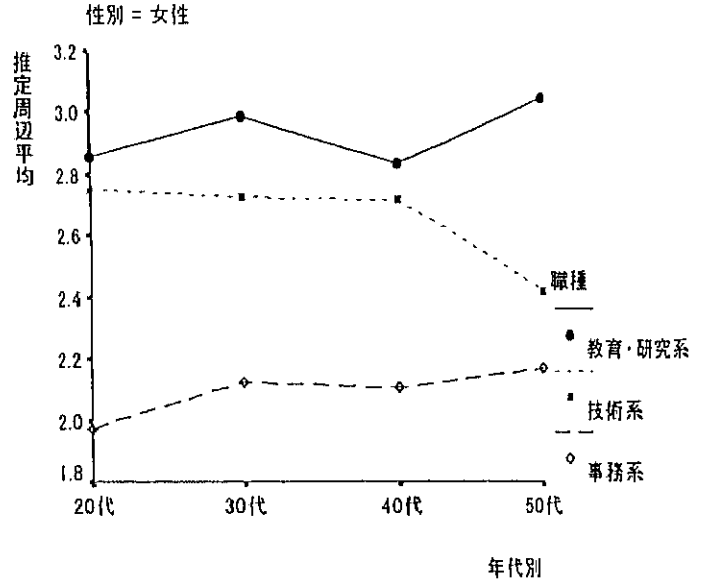


図B-3 対人関係の困難の推定周辺平均

達成感の推定周辺平均

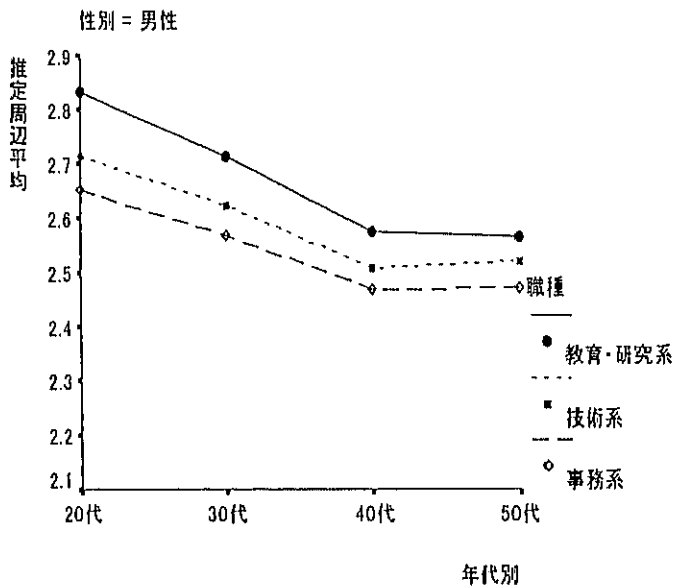


達成感の推定周辺平均

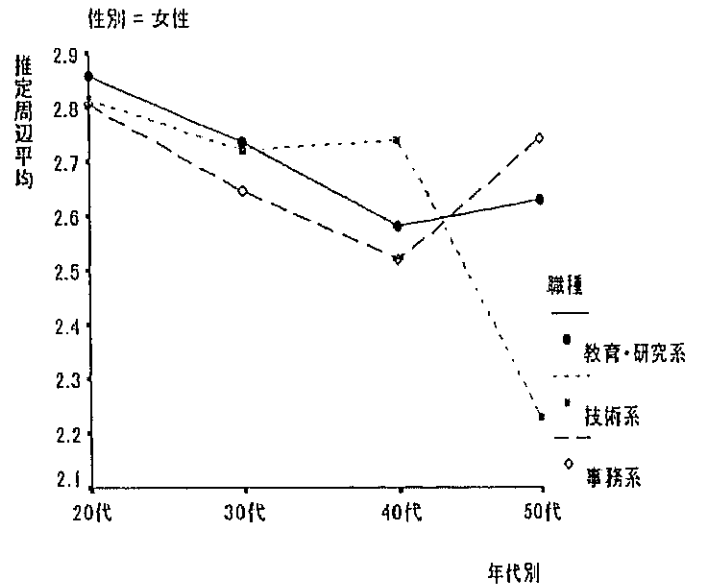


図B-4 達成感の推定周辺平均

同僚・上司の支援の推定周辺平均

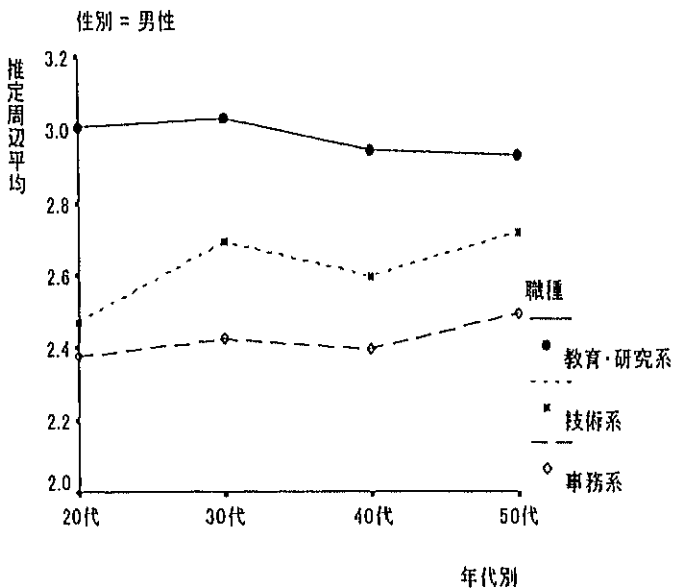


同僚・上司の支援の推定周辺平均

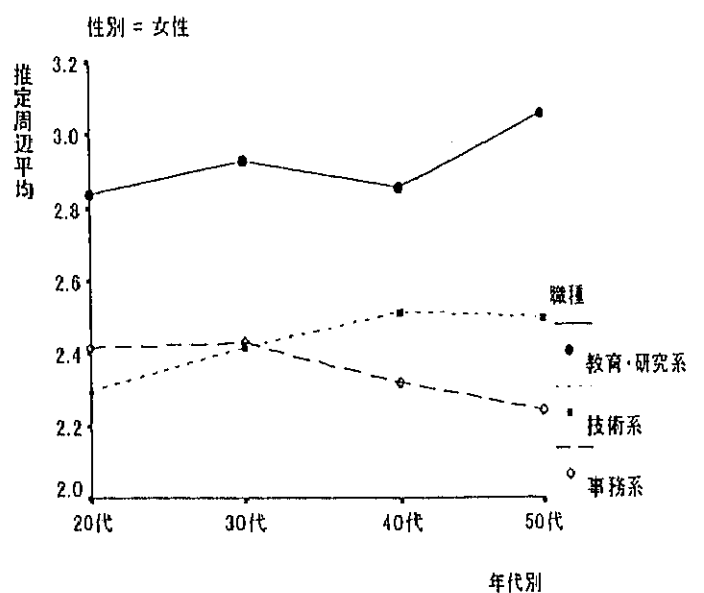


図B-5 同僚・上司の支援の推定周辺平均

裁量度の推定周辺平均

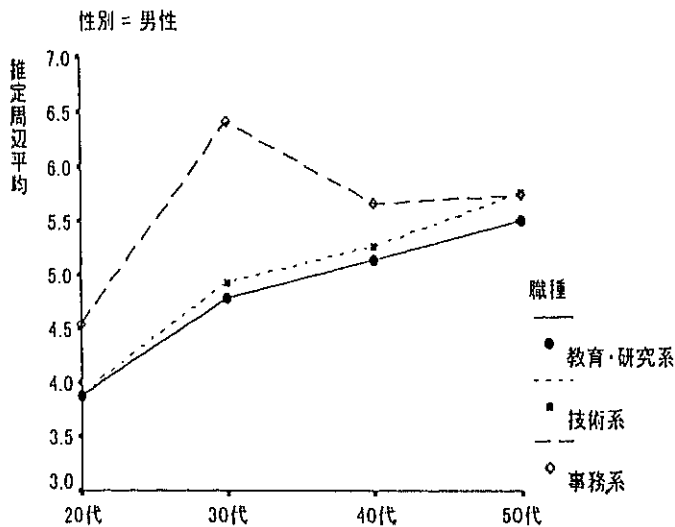


裁量度の推定周辺平均

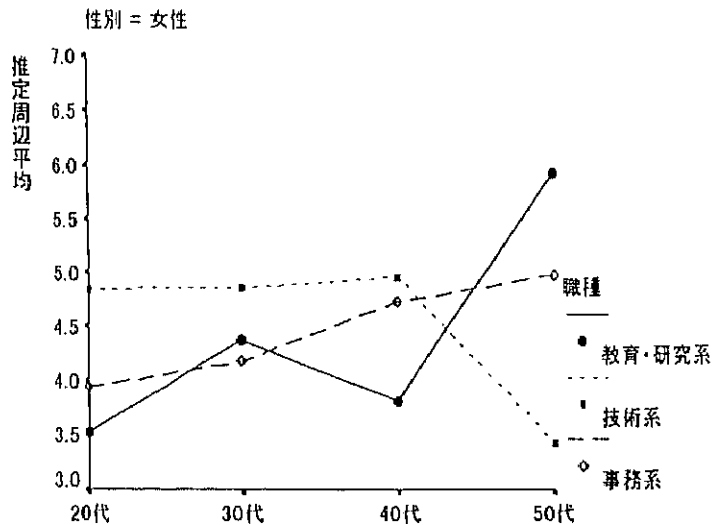


図B-6 裁量度の推定周辺平均

職場でのライフイベント得点の推定周辺平均



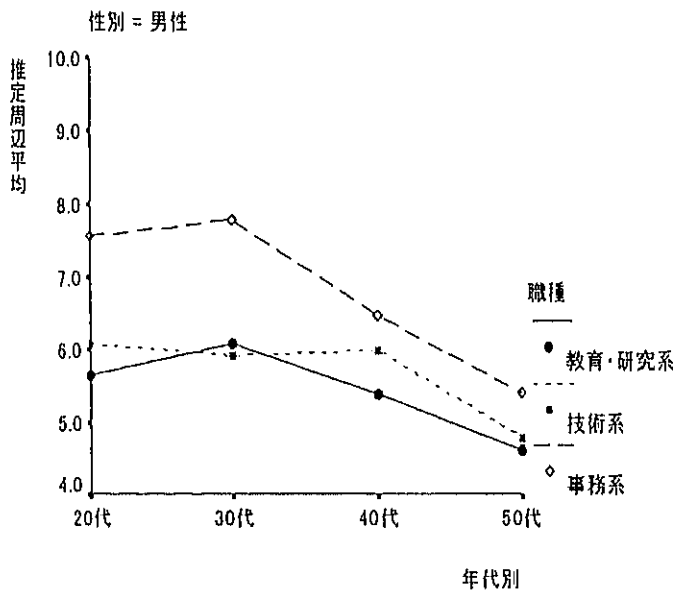
職場でのライフイベント得点の推定周辺平均



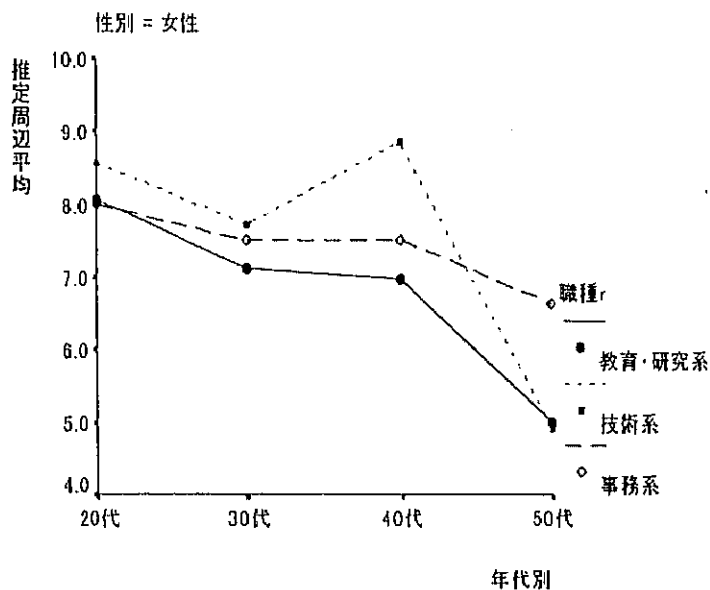
図B-7 職場でのライフイベント得点の推定周辺平均

年代別

GHQ得点の推定周辺平均



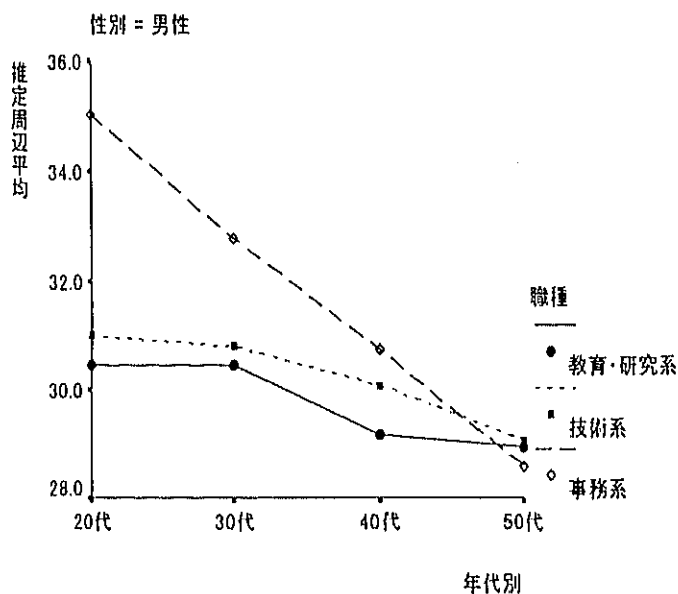
GHQ得点の推定周辺平均



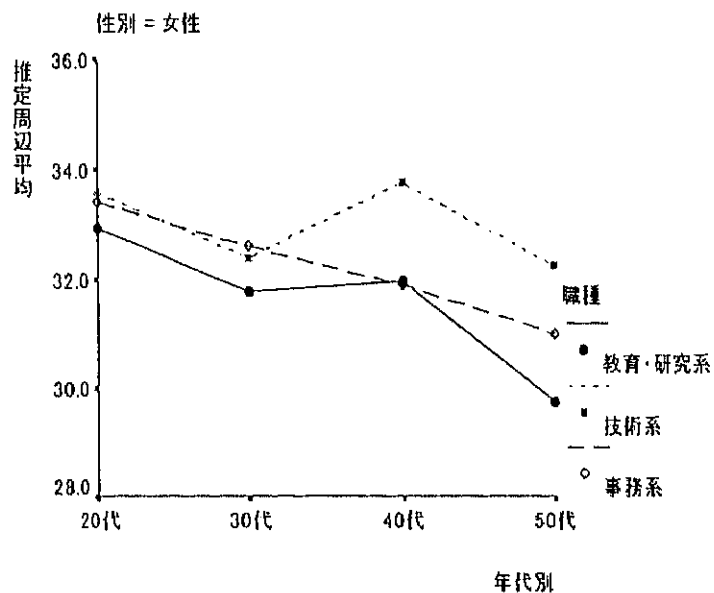
図B-8 GHQ得点の推定周辺平均

年代別

SDS得点の推定周辺平均



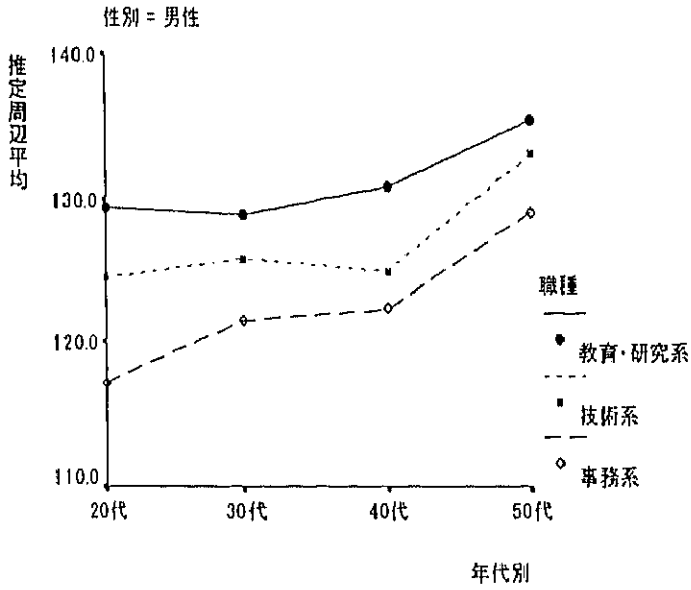
SDS得点の推定周辺平均



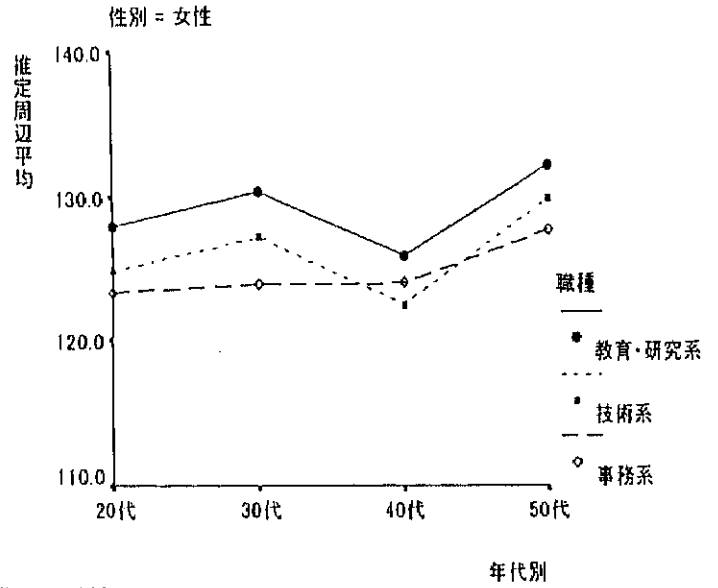
図B-9 SDS得点の推定周辺平均

年代別

SOC得点の推定周辺平均



SOC得点の推定周辺平均



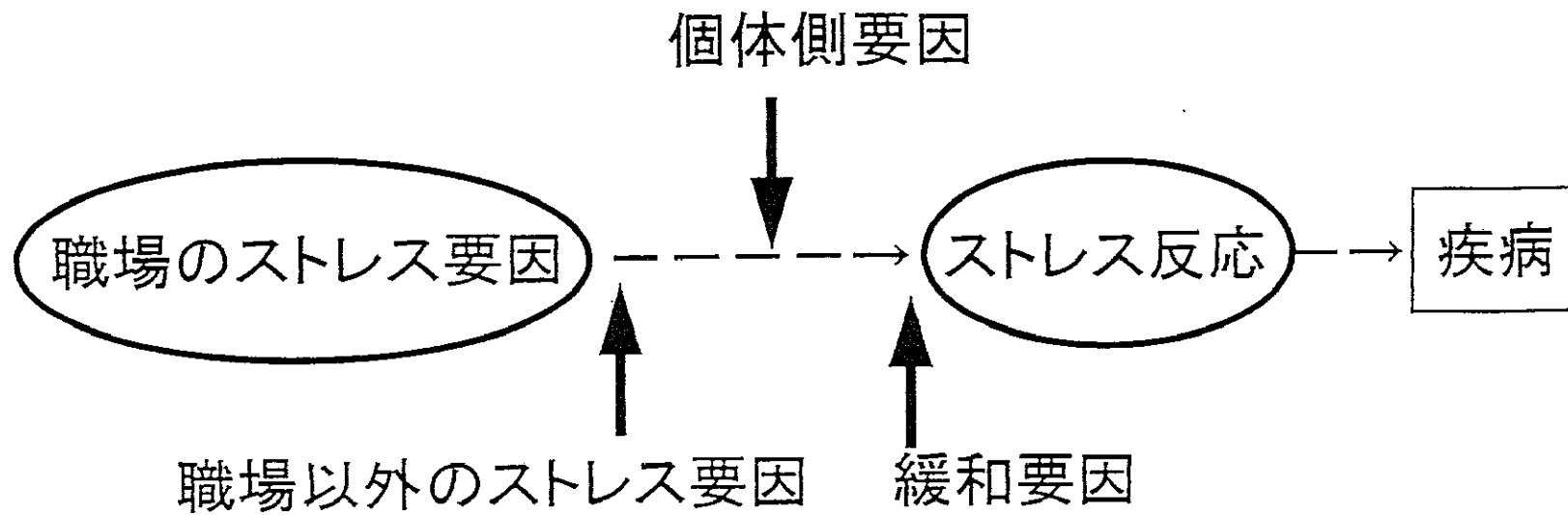
図B-10 SOC得点の推定周辺平均

表 V 各変数間の関連

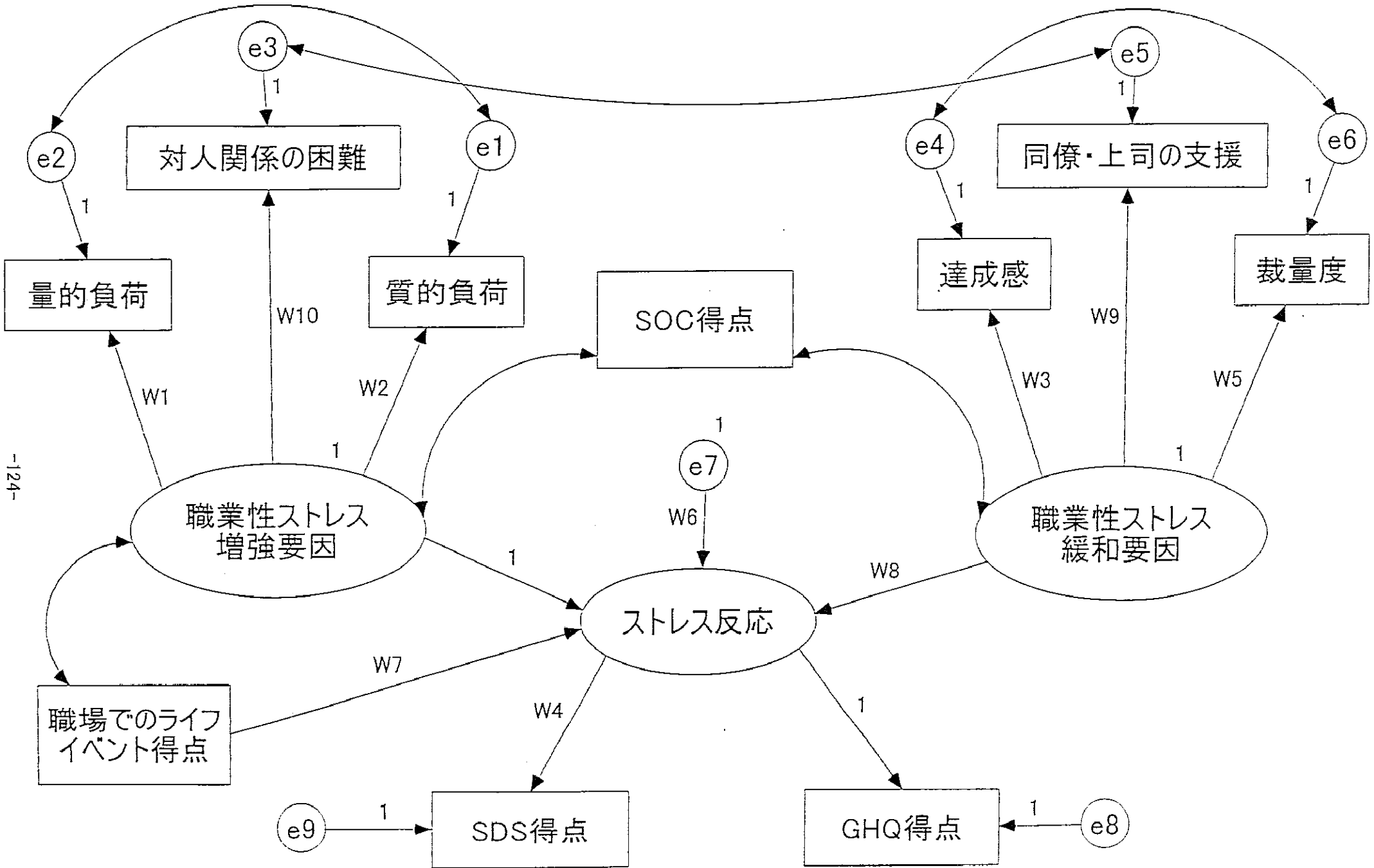
表 V-1 職業性ストレス簡易質問紙の各項目と他変数の相関係数

職業性ストレスの各項目	・職場での ライフイベント				
	年齢	得点	SDS得点	GHQ得点	SOC得点
量的負荷	0.088***	0.260***	0.193***	0.215***	-0.069***
対人関係の困難	-0.300***	0.227***	0.359***	0.351***	-0.375***
質的負荷	-0.039***	0.273***	0.333***	0.322***	-0.267***
達成感	0.060***	-0.086***	-0.317***	-0.260***	0.417***
同僚・上司の支援	-0.134***	-0.134***	-0.261***	-0.222***	0.357***
裁量度	-0.046***	-0.139***	-0.263***	-0.232***	0.328***

Pearsonの相関係数:\*\*\*P<0.001

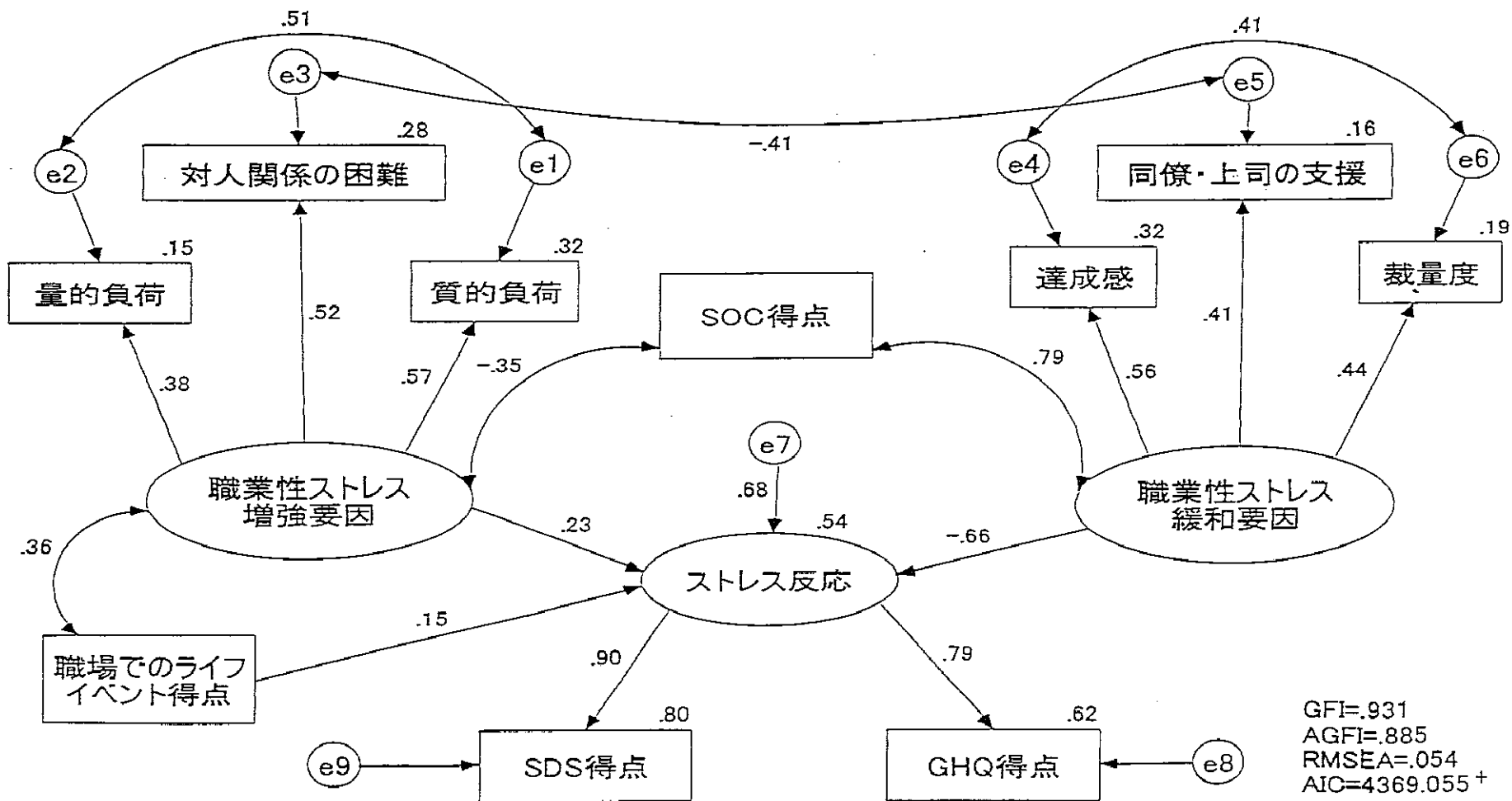


図C-1 NIOSH 職業性ストレスモデル



図C-2 職業性ストレスとストレス反応の因果モデルないでの職種差の検討 対象:全職員

W:パス係数  
e:誤差変数



図C-3 職業性ストレスとストレス反応の因果モデルないでの職種差の検討 対象:全職員

GFI=.931  
AGFI=.885  
RMSEA=.054  
AIC=4369.055<sup>†</sup>

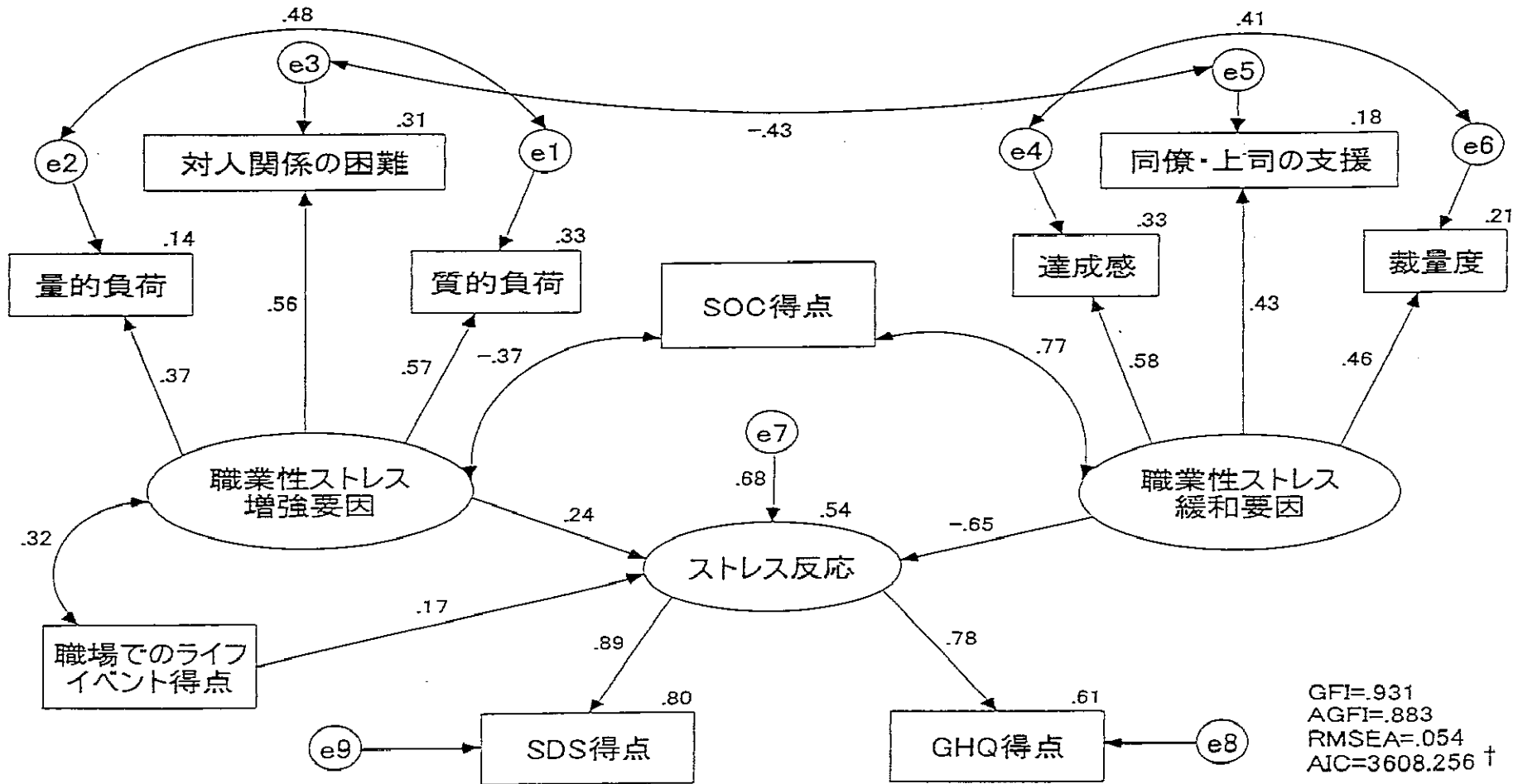
†: 職種差を仮定しない  
場合のAIC=4565.601

表VI-1 共分散構造モデルにおける職業性ストレスの各項目における職種別パス係数の比較

	量的負荷	対人関係の困難	質的負荷	達成感	同僚・上司の支援	裁量度
研究職	0.36	0.52	0.55	0.55	0.42	0.39
技術職	0.42	0.53	0.58	0.58	0.48	0.44
事務職	0.46	0.53	0.50	0.50	0.38	0.42

e: 誤差変数



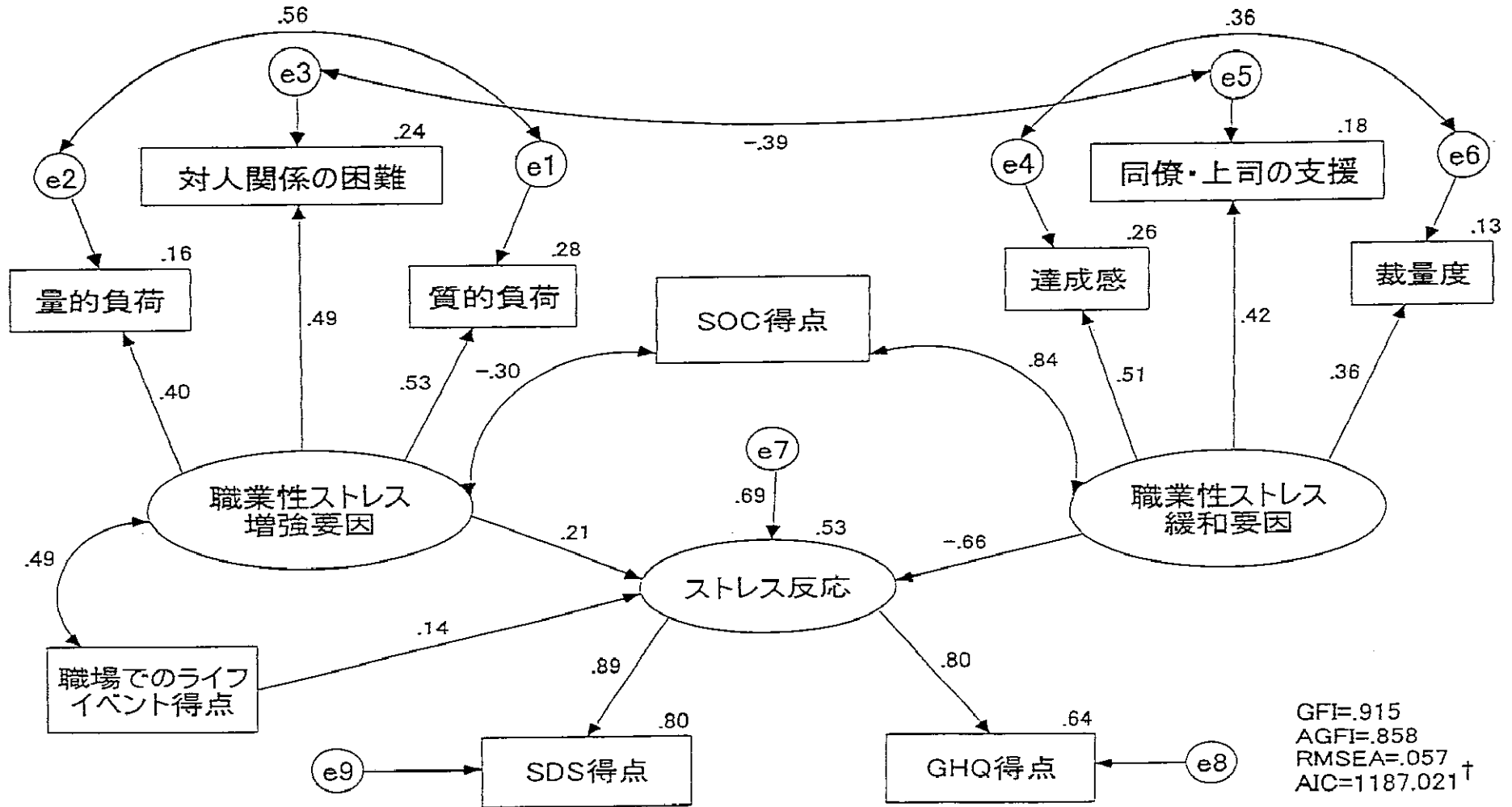


図C-4 職業性ストレスとストレス反応の因果モデル内での職種差の検討 対象:男性

表VI-2 共分散構造モデルにおける職業性ストレスの各項目における職種別パス係数の比較 \*:P<0.05

	量的負荷	対人関係の困難	質的負荷	達成感	同僚・上司の支援	裁量度
研究職	0.35	0.55	0.55	0.56	0.43	0.40
技術職	0.41	0.56	0.60	0.59	0.48	0.48
事務職	0.46	0.58	0.63	0.53	0.42	0.44

e: 誤差変数



GFI=.915  
 AGFI=.858  
 RMSEA=.057  
 AIC=1187.021†

†: 職種差を仮定しない  
 場合のAIC=1184.335

図C-5 職業性ストレスとストレス反応の因果モデル内での職種差の検討 対象:女性

表VI-3 共分散構造モデルにおける職業性ストレスの各項目における職種別パス係数の比較

	量的負荷	対人関係の困難	質的負荷	達成感	同僚・上司の支援	裁量度
研究職	0.44	0.46	0.49	0.50	0.45	0.33
技術職	0.33	0.51	0.47	0.61	0.57	0.31
事務職	0.41	0.49	0.58	0.50	0.40	0.39

e: 誤差変数